

水泳

水

62

日本水上競技聯盟機関雜誌

N. S. R.

水 泳

No. 62

— 1938, 12. —

目 次

昭和十三年度水泳廿傑表	(2)
同 (男子競泳之部)	(2)
同 (女子競泳之部)	(8)
飛込十傑表(男子飛込、女子飛込)	(12)
中等學校競泳十傑表(男子之部)	(13)
同 (女子之部)	(15)
全國小學校兒童水泳競技會	(17)
小學校兒童水泳十優表(尋男之部)	(18)
同 (尋女之部)	(20)
同 (高男之部)	(21)
同 (高女之部)	(23)
日本選手權飛込競技	原 秀 夫(25)
昭和十三年度飛込競技成績表	(28)
プール公認	(29)
平泳のコツ	葉 室 鐵 夫(30)
比島遠征選手を送る	(32)
合同練習飛込座談會	(33)
日本選手權水球大會の成績に就いて	笹 島 彦 次 郎(41)
本聯盟役員出征者通信(其二)	(42)
水上聯盟日誌	(44)
編輯後記	(44)



昭和十三年度・水泳廿傑表

○本表は昭和拾参年度に於て日本水上競技聯盟及び加盟團體の公認せる競技會中本聯盟に報告せられたる成績を競泳十傑銓衡規定に従ひ記録委員會に於て作成し理事會の承認を経て茲に公表するものである。

○飛込競技十傑は飛込委員會に於て作成したるものである。

○表中記載の時間は總べて五十米水路による。

日本水上競技聯盟

◎印 世界新記録

○印 日本新記録

△印 日本對記録

男子競泳之部

50米自由形

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
1	宮崎 康二	慶大	26.6	神宮	9.18	日本學生
2	佐々木 猛	日大	26.8	神宮	9.18	日本學生
3	長谷川卯佐美	高松高商	26.8	神宮	9.18	日本學生
4	柴原 恒雄	日大	27.2	神宮	9.17	日本學生
5	高石 勝男	大阪製鋼	27.2	寶塚	8.14	大阪實業
6	井上 秀雄	慶大	27.6	神宮	9.18	日本學生
7	鶴岡 榮	立大	27.6	神宮	9.17	日本學生
8	高尾 龍實	慶大	27.8	神宮	9.18	日本學生
9	影島 理	青學	27.8	神宮	9.10	關東學生
10	大井 健司	大阪十合	27.8	神宮	8.26	全國實業

十傑平均今年度 27.32

昨年度 27.38

11	竹尾 快助	成城	28.0	神宮	9.10	關東學生
12	庄田 俊治	關學	28.0	神宮	9.17	日本學生
13	山田 薫	明大	28.0	神宮	9.17	日本學生
14	井上 茂	福岡	28.0	大濠	6.26	福岡對八幡

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
15	矢住 信智	關學大	28.2	甲子園	6.5	京阪神學生
16	森本 芳郎	關學大	28.2	甲子園	6.5	京阪神學生
17	須永 安治	鐵道本省	28.2	神宮	8.26	全國實業
18	財間 忠治	川崎造船	28.2	神宮	8.26	全國實業
19	太田 忠勝	都島工	28.2	大阪	7.3	大阪市民
20	串田 正夫	關學大	28.2	神宮	9.17	日本學生
21	伊藤 進	西區	28.2	振甫	8.20	名古屋對區
22	谷口 辰三	早大	28.2	神宮	9.17	日本學生

廿傑平均今年度 27.72

昨年度 27.88

昨年度第一位 田口 正治 (立大) 26.4

第十位 中村 隆男 (橫高商) 28.0

第廿位 龜井 八郎 (國大) 28.6

100米自由形

1	新井 茂雄	立大	58.0	神宮	9.17	日本學生
2	佐々木 猛	日大	58.6	振甫	6.26	日大對東海
3	遊佐 正憲	日大出	1:00.4	神宮	8.10	關東豫選

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
4	田口 正治	立大	1:00.8	甲子園	6.19	三大學招待
5	杉浦 重雄	早大	1:01.0	神宮	9.17	日本學生
6	宮崎 康二	慶大	1:01.4	神宮	9.18	日本學生
7	小柳 清志	中京商	1:01.6	振甫	9.4	中部日本中等
8	鶴岡 榮	立大	1:01.8	神宮	8.10	關東豫選
9	鷺谷 光明	日大	1:01.8	神宮	9.17	日本學生
10	杉田 芳郎	早大	1:01.8	神宮	9.17	日本學生

十傑平均今年度 1:00.72
昨年度 1:00.42

11	片岡寅次郎	早大	1:01.8	神宮	6.5	早慶對抗
12	長谷川卯佐美	高松高商	1:02.2	寶塚	7.16	西部高商
13	中川 要	白杵中	1:02.2	白杵中	9.12	大分中等
14	壺田 重三	早大	1:02.4	神宮	9.12	日本學生
15	井上 茂	福岡	1:02.4	大濠	8.25	西日本對抗
16	重山 孝	加治木中	1:02.6	神宮	8.7	日本學生
17	太田 忠勝	都島工	1:02.8	甲子園	8.19	日本選手權
18	岩崎 寅雄	立命大	1:02.8	甲子園	9.4	關西學生
19	山下 欣一	濱一中	1:03.0	甲子園	8.19	日本選手權
20	平野 亮	日大專	1:03.0	神宮	7.23	全國高專

廿傑平均今年度 1:01.66
昨年度 1:01.50

昨年度第千位 新井 茂雄 (立大) 57.8
第十位 林田 義人 (大阪) 1:01.8
第廿位 服部己代治 (關大) 1:08.0

200 米 自由形

○1	新井 茂雄	立大	2:09.6	神宮	8.10	關東豫選
2	佐々木 猛	日大	2:15.4	神宮	6.12	三大學
3	高橋 弘	慶大	2:15.6	神宮	6.5	早慶對抗
4	宮本 茂	多摩津中	2:15.8	甲子園	8.21	日本選手權
5	田口 正治	立大	2:16.8	神宮	6.12	三大學
6	鷺谷 光明	日大	2:17.0	神宮	9.18	日本學生
7	杉田 芳郎	早大	2:17.4	甲子園	6.18	早關對抗
8	新聞 大炳	早大	2:18.2	神宮	9.17	日本學生
9	島本 信美	慶大	2:18.4	神宮	6.5	早慶對抗
10	杉浦 重雄	早大	2:18.6	神宮	9.18	日本學生

十傑平均今年度 2:16.28
昨年度 2:18.04

11	鵜藤 俊平	立大	2:19.0	神宮	9.17	日本學生
12	小柳 清志	中京商	2:19.4	神宮	8.7	日本中學
13	牧野 正藏	早大	2:19.4	神宮	8.21	早慶對抗
14	宮木 利彦	臺灣遞	2:20.4	甲子園	8.21	日本選手權

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
15	馬場 止	日大	2:20.6	神宮	9.17	日本學生
16	片岡寅次郎	早大	2:21.8	神宮	6.5	早慶對抗
17	小野 猛夫	京二商	2:22.0	甲子園	7.31	中部中等
18	栗原 徹	日大	2:22.4	振甫	6.26	日大對東海
19	大塚 一止	台北帝大	2:22.6	甲子園	8.20	日本選手權
20	壺田 重三	早大	2:22.8	神宮	9.17	日本學生

廿傑平均今年度 2:18.66
昨年度 2:20.09

昨年度第一位 新井 茂雄 (立大) 2:12.2
第十位 淺野 輝明 (川崎造船) 2:22.5
第廿位 北浦 賢次 (伊都中) 2:24.0

400 米 自由形

1	新井 茂雄	立大	4:47.0	甲子園	8.20	日本選手權
2	天野 富勝	日大	4:47.4	甲子園	8.20	日本選手權
3	高橋 弘	慶大	4:48.0	神宮	9.18	日本學生
4	牧野 正藏	早大	4:52.0	神宮	9.18	日本學生
5	寺田 登	慶大	4:53.8	神宮	9.18	日本學生
6	宮本 茂	多摩津中	4:56.0	神宮	8.7	日本中等
7	田中 英作	早大	4:56.6	神宮	9.17	日本學生
8	栗原 徹	日大	4:58.0	神宮	9.18	日本學生
9	新聞 六炳	早大	4:58.0	神宮	9.17	日本學生
10	越戶 優一	日大	4:58.2	神宮	9.18	日本學生

十傑平均今年度 4:53.50
昨年度 4:56.34

11	本間 俊夫	立大	4:58.6	甲子園	6.19	三大學招待
12	馬場 止	日大	5:01.2	神宮	6.12	三大學招待
13	片山 崇	慶大	5:01.2	神宮	9.17	日本學生
14	杉浦 重雄	早大	5:02.8	神宮	6.5	早慶對抗
15	岩切 主	立大	5:03.4	神宮	8.10	關東豫選
16	岩田 務	岐阜商	5:03.8	甲子園	7.31	中部中等
17	淺野 俊雄	中京商	5:06.6	甲子園	8.19	日本選手權
18	鵜藤 俊平	立大	5:09.2	甲子園	8.19	日本選手權
19	篠崎 正也	早大	5:09.6	神宮	9.17	日本學生
20	松山 正一	中泉農	5:09.8	神宮	7.31	東部中等

廿傑平均今年度 4:59.06
昨年度 5:01.49

昨年度第一位 牧野 正藏 (稻泳會) 4:50.8
第十位 天野 富勝 (福岡青) 5:04.0
第廿位 藤原 茂輔 (京二商) 5:08.4

800 米 自由形

1	天野 富勝	日大專	9:57.8	神宮	7.24	全國高專
---	-------	-----	--------	----	------	------

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
2	高橋 弘	慶大	10:05.2	神宮	9.18	日本學生
3	牧野 正藏	早大	10:12.4	神宮	9.17	日本學生
4	寺田 登	慶大	10:14.8	神宮	9.18	日本學生
5	片山 崇	慶大	10:19.2	神宮	9.18	日本學生
6	栗原 徹	日大	10:23.2	神宮	9.18	日本學生
7	田中 英作	早大	10:23.8	神宮	9.17	日本學生
8	本間 俊夫	立大	10:29.6	神宮	7.24	全國高專
9	越戸 優一	日大	10:31.2	神宮	9.17	日本學生
10	岩田 務	岐阜商	10:38.0	甲子園	7.31	中部中等

十傑平均今年度 10:19.52
 昨年度 10:27.66

11	宇田 守榮	高知商	10:38.8	神宮	8.7	日本中等
12	淺野 俊雄	中京商	10:40.8	甲子園	8.20	日本選手權
13	村山 修一	伊都中	10:44.2	神宮	8.7	日本中等
14	岩切 主	立大	10:46.0	神宮	9.17	日本學生
15	太田 光雄	中京商	10:49.2	神宮	8.6	日本中等
16	木村 成男	日大	10:50.0	神宮	7.23	全國商專
17	小倉彌太郎	和歌商	10:50.5	甲子園	7.31	中部中等
18	松山 正一	中泉農	10:51.8	神宮	7.31	東部中等
19	谷村 秀治	高松高商	10:53.0	寶塚	9.5	關西學生
20	友成 靖	臺灣	10:54.0	廣二中	8.7	台灣對廣島

廿傑平均今年度 10:33.675
 昨年度 10:35.64
 昨年度第一位 寺田 登 (慶大) 10:15.4
 第十位 本間 俊夫 (立大) 10:33.8
 第廿位 谷村 秀治 (廣一中) 10:55.2

1500 米 自由形

◎1	天野 富勝	日大	18:58.8	神宮	8.10	關東豫選
2	高橋 弘	慶大	19:49.2	神宮	6.5	早慶對抗
3	本間 俊夫	立大	20:01.4	甲子園	8.21	日本選手權
4	越戸 優一	日大	20:05.2	甲子園	8.21	日本選手權
5	栗原 徹	日大	20:05.4	甲子園	8.21	日本選手權
6	寺田 登	慶大	20:11.4	神宮	6.5	早慶對抗
7	片山 崇	慶大	20:11.6	神宮	6.5	早慶對抗
8	淺野 俊雄	中京商	20:16.0	甲子園	8.20	日本選手權
9	本田惣一郎	立大	20:47.2	甲子園	6.19	三大學招待
10	杉浦 重雄	早大	20:52.8	神宮	6.5	早慶對抗

十傑平均今年度 20:07.90
 昨年度 20:15.59

11	岩田 務	岐阜商	20:53.0	甲子園	8.20	日本選手權
12	河村 甚平	名古屋商	20:55.0	振甫	9.4	中部日本中

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
13	宇田 守榮	高知商	20:56.0	甲子園	8.20	日本選手權
14	岩切 主	立大	21:04.4	甲子園	8.20	日本選手權
15	友成 靖	台中二中	21:05.8	甲子園	8.20	日本選手權
16	小倉彌太郎	和歌商	21:06.4	甲子園	8.20	日本選手權
17	竹内 定夫	東邦商	21:07.4	振甫	5.29	合同練習
18	清原 創	灘中	21:07.6	甲子園	8.14	兵庫豫選
19	太田 光雄	中京商	21:08.4	振甫	7.24	名古屋豫選
20	津田 國男	芦泳會	21:12.8	甲子園	8.20	日本選手權

廿傑平均今年度 20:35.79
 昨年度 20:48.905

昨年度第一位 高橋 弘 (慶大) 19:37.8
 第十位 淺野 俊雄 (中京商) 21:07.7
 第廿位 飯塚 巧夫 (川崎造船) 21:39.0

100 米 平 泳

△1	葉室 鐵夫	日大	1:13.0	甲子園	8.20	日本選手權
2	小池 禮三	慶大	1:13.2	神宮	9.18	日本學生
3	山田 弘	早大	1:16.2	神宮	9.18	日本學生
4	長久 俊三	慶大	1:16.2	神宮	6.18	日本學生
5	古川 敏	早大	1:16.4	神宮	9.17	日本學生
6	大浦誠一郎	立大	1:17.0	甲子園	8.20	日本選手權
7	伊藤 三郎	昭和漢業	1:17.0	甲子園	8.20	日本選手權
8	高原 豊	山口高商	1:17.4	寶塚	7.17	全國高商
9	大林 嗣生	早大	1:17.4	神宮	9.17	日本學生
10	野口 安造	高松高商	1:17.4	寶塚	9.4	關西學生

十傑平均今年度 1:16.00
 昨年度 1:16.51

11	苗村 六郎	大阪高技	1:17.6	寶塚	9.3	關西學生
12	田畑 三郎	京二商	1:17.8	神宮	8.7	日本中等
13	林田 睦夫	日大	1:18.0	振甫	6.26	日大對東海
14	葉室 貞男	日大	1:19.0	甲子園	8.19	日本選手權
15	深野 富雄	早大	1:19.2	甲子園	8.19	日本選手權
16	寺田 武實	早大	1:19.4	京城	6.26	日大對朝鮮
17	吉田 三郎	早大	1:19.6	神宮	9.17	日本學生
18	松田 隆吉	城東商	1:19.8	神宮	8.7	日本中等
19	田口 實	日大	1:19.8	振甫	6.26	日大對東海
20	田崎 邦彦	關學大	1:19.8	神宮	9.17	日本學生

廿傑平均今年度 1:17.50
 昨年度 1:17.655

昨年度第一位 小池 禮三 (慶大) 1:13.6
 第十位 林田 義人 (大阪) 1:18.9
 第廿位 澤井 湛 (廣二中) 1:20.6

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名

200 米 平 泳

1	葉室 鐵夫	日大	2:42.2	甲子園	8.21	日本選手權
2	小池 禮三	慶大	2:43.0	神宮	9.18	日本學生
3	大浦誠一郎	立大	2:46.6	甲子園	8.21	日本選手權
4	林田 睦夫	日大	2:49.2	神宮	6.12	三大學對抗
5	古川 敏	早大	2:49.4	神宮	9.18	日本學生
6	長久 俊三	慶大	2:50.2	神宮	9.18	日本學生
7	野田 務	明大	2:51.8	神宮	9.18	日本學生
8	田畑 三郎	京二商	2:52.0	甲子園	8.21	日本選手權
9	寺田 武實	早大	2:52.6	神宮	6.5	早慶對抗
10	田口 實	日大	2:53.9	振甫	6.26	日大對東海

十傑平均今年度 2:49.09

昨年度 2:48.36

11	高原 豐	山口高商	2:54.0	寶塚	7.19	全國高商
12	苗村 六郎	大阪高校	2:54.2	寶塚	9.4	關西學生
13	松原 正次	耐久中	2:54.6	甲子園	8.21	日本選手權
14	山口 正保	朝大	2:55.0	甲子園	8.14	兵庫豫選
15	加藤 倭夫	立大	2:55.6	神宮	9.17	日本學生
16	加藤 久男	袋井商	2:56.4	神宮	7.30	東部中等
17	川野 隆三	早大	2:57.4	神宮	7.17	日本學生
18	三輪 春雄	早大	2:58.0	甲子園	6.18	早慶對抗
19	野口 安造	高松高商	2:55.4	寶塚	9.4	關西學生
20	田崎 邦彦	關學大	2:59.0	寶塚	6.4	關西學生

廿傑平均今年度 2:52.685

昨年度 2:52.245

昨年度第一位 葉室 鐵夫 (日大) 2:40.4

第十位 田口 實 (日大) 2:53.4

第廿位 伊藤 廣三 (早大) 2:58.0

50 米 背 泳

1	兒島 泰彥	三田	31.0	甲子園	8.20	日本選手權
2	阪本 响一	立大豫	31.4	神宮	7.23	全國高專
3	谷口 利弘	日大	31.8	甲子園	8.19	日本選手權
4	吉田 喜一	早大	32.0	神宮	9.17	日本學生
5	河野 通廣	日大	32.4	甲子園	8.19	日本選手權
6	明文一	日立鐵山	32.8	甲子園	8.20	日本選手權
7	中西長兵衛	芦泳會	32.8	甲子園	8.20	日本選手權
8	門屋 桂	立大豫	32.8	神宮	7.23	全國高專
9	平賀 孟	立大	33.0	神宮	8.10	關東豫選
10	秋吉 龍二	無所屬	33.4	甲子園	8.19	日本選手權

十傑平均今年度 32.34

昨年度 33.18

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名

11	奧田精一郎	早大	33.4	神宮	9.18	日本學生
12	部坂 克夫	神商大	33.4	寶塚	9.4	關西學生
13	兒玉 秀彥	佐伯中	33.4	臼杵中	7.17	東九州豫選
14	遊佐 正憲	日大出	33.4	神宮	8.10	關東豫選
15	松本 進	松山商	33.6	甲子園	8.19	日本選手權
16	本間 竹志	文理大	33.6	神宮	7.23	全國高專
17	谷口 五郎	廣二中	33.8	甲子園	8.19	日本選手權
18	小林 五郎	臺灣遞	33.8	甲子園	8.19	日本選手權
19	長谷川黃一	函館商	33.8	甲子園	8.19	日本選手權
20	井上 秀雄	慶大	33.8	神宮	9.19	日本學生

廿傑平均今年度 32.97

昨年度 34.20

昨年度第一位 兒島 泰彥 (慶大) 31.2

第十位 山田 鋼 (關大) 34.4

第廿位 上川內洋六 (神奈工) 36.4

100 米 背 泳

1	兒島 泰彥	慶大	1:08.6	神宮	6.5	早慶對抗
2	吉田 喜一	早大	1:10.2	神宮	9.17	日本學生
3	坂本 响一	立大	1:10.4	神宮	8.10	關東豫選
4	谷口 利弘	日大	1:10.4	神宮	9.17	日本學生
5	河野 通廣	日大	1:11.2	甲子園	8.20	日本選手權
6	妙中 要造	伊部中	1:12.8	甲子園	7.31	中部中等
7	鷺谷 光明	日大	1:12.8	神宮	6.12	三大學對抗
8	松本 進	松山商	1:13.0	甲子園	8.21	日本選手權
9	平賀 孟	立大	1:13.2	神宮	8.10	關東豫選
10	服部 義治	津島中	1:13.2	振甫	9.4	中部日本中

十傑平均今年度 1:11.58

昨年度 1:12.04

11	門屋 桂	立大	1:14.0	神宮	8.10	關東豫選
12	山本恭之介	早大	1:14.0	神宮	6.5	早慶對抗
13	本間 竹志	文理大	1:14.2	神宮	9.11	關東學生
14	明文一	日立鐵山	1:14.2	神宮	8.27	全國實業
15	中西長兵衛	關大	1:14.6	寶塚	9.4	關西學生
16	長谷川黃一	函館商	1:14.8	神宮	8.7	日本中等
17	谷口 五郎	廣二中	1:14.8	神宮	8.6	日本中等
18	內館 洋	早大	1:15.0	神宮	9.17	日本學生
19	兒玉 秀彥	佐伯中	1:15.0	臼杵中	7.17	東九州豫選
20	奧田精一郎	早大	1:15.0	神宮	9.17	日本學生

廿傑平均今年度 1:13.07

昨年度 1:13.455

昨年度第一位 兒島 泰彥 (慶大) 1:09.2

第十位 河野 道廣 (加治木中) 1:13.8

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名

第廿位 大河 敏男 (岐 藥 專) 1:15.8

200 米 背 泳

- 1 吉田 喜一 早 大 2:34.4 京城 6.26 早大對朝鮮
- 2 妙中 要造 伊都中 2:38.6 甲子園 7.31 中部中等
- 3 松本 進 松山商 2:39.8 神宮 8.7 日本中等
- 4 山本恭之介 福 岡 2:41.6 大濠 8.3 福岡對台灣
- 5 河野 通廣 日 大 2:42.0 振甫 6.26 日大對東海
- 6 鷺谷 光明 日 大 2:42.2 振甫 6.26 日大對東海
- 7 藤井敬次郎 濱一中 2:43.8 神宮 8.7 日本中等
- 8 谷口 五郎 廣二中 2:44.8 神宮 8.6 日本中等
- 9 原 保夫 日 大 2:44.8 振甫 6.26 日大對東海
- 10 大杉 信孝 中泉農 2:45.4 神宮 8.6 日本中等

十傑平均今年度 2:41.74

昨年度 2:38.33

- 11 服部 義治 津島中 2:46.8 甲子園 7.30 中部中等
- 12 山田 實 和高商 2:47.8 寶塚 7.16 西部高商
- 13 谷口 辰三 早 大 2:47.8 京城 6.26 早大對朝鮮
- 14 長谷川黃一 函館商 2:48.2 神宮 7.30 東部中等
- 15 田原 照雄 修道中 2:50.4 廣二中 6.1 廣島中等
- 16 江口 正人 岡二商 2:50.8 甲子園 7.30 中部中等
- 17 水町 雄吉 修猷館 2:51.0 神宮 8.6 日本中等
- 18 小林 五郎 臺 灣 2:51.2 大濠 8.4 台灣對福岡
- 19 中村 正夫 福岡中 2:52.0 大濠 9.18 福岡中等
- 20 大森 一樹 鹿一中 2:52.8 大濠 7.30 西部中等

廿傑平均今年度 2:46.01

昨年度 2:41.43

昨年度第一位 吉田 喜一 (早 大) 2:31.0

第十位 井口 敏彦 (東工藝) 2:42.0

第廿位 興津 達郎 (文理大) 2:47.4

200 米 リ レ ー

- 1 井上・宮崎・小池・兒島
(慶 大)1:47.0 神宮 9.17 日本學生
- 2 新井・坂本・本田・鶴岡
(立 大)1:48.0 神宮 9.17 日本學生
- 3 井上・宮崎・兒島・高尾
(三田水)1:49.0 甲子園 8.14 兵庫豫選
- 4 柴原・佐々木・河野・鷺谷
(日 大)1:49.4 神宮 9.17 日本學生
- 5 森本・庄田・矢住・串田
(關學大)1:50.4 甲子園 6.18 早關對抗
- 6 吉田・坂上・谷口・杉浦

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名

(早 大)1:50.4 甲子園 6.18 早關對抗

7 杉浦・谷口・川野・吉田

(早 大)1:50.6 神宮 9.17 日本學生

8 坂本・平賀・本田・新井

(立大豫科)1:50.8 立大 5.15 立大科對一高

9 吉田・谷口・杉田・杉浦

(早 大)1:51.8 京城 6.26 早大對朝鮮

10 大塚・江頭・永岩・宮木

(臺 灣)1:52.2 廣二中 8.7 廣島對臺灣

十傑平均今年度 1:49.96

昨年度 1:49.54

11 森原・森田・河田・平野

(日 大)1:52.4 振甫 6.26 日大對東海

12 金柁・山藤・佐々・長谷川

(廣 島)1:52.8 廣二中 8.7 廣島對臺灣

13 寺石・抱・船倉・長谷川

(高松高商)1:52.8 寶塚 9.4 關西學生

14 大塚・江頭・橫林・宮木

(臺 灣)1:53.0 大塚 8.4 臺灣對福岡

15 橋崎・牧・正木・井上

(福 岡)1:54.4 大濠 6.26 福岡對八幡

16 森原・橋崎・武内・内田

(福 岡)1:54.5 大濠 8.4 臺灣對福岡

17 福本・曾我・瀧石・立田

(名古屋高商)1:54.8 橫濱 7.17 東部高商

18 大竹・大川・三鴨・藤田

(法政大)1:55.0 神宮 9.11 關東學生

19 菅・古木・濱田・中川

(臼杵中)1:55.6 臼杵中 9.12 大分中等

20 上野・圓尾・柴田・吉田

(關 大)1:55.6 甲子園 6.5 京阪神學生

廿傑平均今年度 1:52.23

昨年度 1:51.64

昨年度第一位 (立 大) 1:47.4

第十位 (關 學) 1:51.2

第廿位 (東 大) 1:54.8

800 米 リ レ ー

1 新井・本間・岩切・鶴藤

(立 大)9:11.8 神宮 9.18 日本學生

2 高橋・寺田・渡邊・島本

(慶 大)9:14.4 神宮 6.5 早慶對抗

3 杉田・新聞・牧野・杉浦

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
			(早大)9:14.8	神宮	9.18	日本學生
4	新井・鶴藤・田口・本間		(立大)9:15.2	神宮	6.12	三大學對抗
5	杉田・田中・牧野・杉浦		(早大)9:17.4	神宮	6.5	早慶對抗
6	新井・本田・坂本・本間		(立大豫)9:21.0	神宮	7.24	全國高專
7	佐々木・天野・栗原・鷺谷		(日大)9:21.6	神宮	7.18	日本學生
8	栗原・佐々木・馬場・天野		(日大)9:23.0	神宮	6.12	三大學對抗
9	佐々木・平野・天野・馬場		(日大專)9:31.0	神宮	7.24	全國高專
10	杉田・新聞・田中・杉浦		(早大)9:31.4	京城	6.26	早大對朝鮮

十條平均今年度 9:20.16
 昨年度 9:24.94

11	杉田・田中・窪田・吉田		(早大專)9:32.2	神宮	7.24	全國高專
12	片山・渡邊・中澤・田村		(三田水)9:42.8	甲子園	8.14	兵庫豫選
13	大塚・横林・永岩・宮木		(臺灣)9:42.8	廣二中	8.7	臺灣對廣島
14	田中・小坂井・宮川・岩田		(岐阜商)9:43.6	神宮	8.7	日本中等
15	淺野・水野・本田・小柳		(中京商)9:44.0	神宮	8.7	日本中等
16	本間・岩切・本田・新井		(立大豫)9:45.2	立大	5.15	立大豫對一高
17	川合・中島・村山・牧野		(伊都中)9:49.4	神宮	8.7	日本中等
18	谷村・船倉・長谷川・抱		(高松高商)9:50.0	寶塚	9.4	關西學生
19	村井・田村・庄田・串田		(關學大)9:50.4	寶塚	9.4	關西學生
20	村井・庄田・森本・串田		(關學大)9:50.8	神宮	9.18	日本學生

廿條平均本年度 9:32.64
 昨年度 9:33.58
 昨年度第一位 (早大) 9:06.2
 第十位 (日大) 9:40.6
 第廿位 (關學大) 9:58.2

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名
 300米メドレー・リレー

1	鷺谷・葉室・佐々木		(日大)3:24.8	神宮	6.12	三大學對抗
2	坂本・大浦・新井		(立大豫)3:26.2	神宮	7.24	全國高專
3	坂本・大浦・田口		(立大)3:27.4	甲子園	6.19	三大學招待
4	谷口・林田・佐々木		(日大專)3:28.6	神宮	7.24	全國高專
5	吉田・大林・杉田		(早大專)3:32.2	神宮	7.24	全國高專
6	河野・葉室・平野		(日大)3:34.4	振甫	6.26	日大對東海
7	服部・加藤・小柳		(東海)3:42.2	振甫	6.26	日大對東海
8	山田・石原・小柳		(中京商)3:44.8	清州	9.24	名古屋水聯
9	佐藤・船越・財間		(川崎造船)3:46.0	神宮	8.27	全國實業
10	明・大木・宮本		(日立鑛山)3:46.4	神宮	8.27	全國實業

十條平均今年度 3:35.30
 昨年度 3:34.88

11	幸村・木村・竹内		(東邦商)3:46.8	振甫	8.13	名古屋市民
12	藤井・内田・山下		(濱一中)3:48.0	濱一中	6.19	東海中等
13	山田・石原・水野		(中京商)3:49.0	振甫	8.13	名古屋市民
14	大宮・兒玉・若松		(岐阜專)3:47.0	振甫	9.10	東海學生
15	藤重・野日・大城戸		(明大)3:49.6	神宮	6.12	三大學對抗
16	中田・伊藤・吉田		(關大)3:50.3	寶塚	6.19	大阪學生
17	服部・水谷・神谷		(津島中)3:50.5	清洲	6.19	記念競泳
18	栗野・松田・岡田		(八高)3:51.2	振甫	9.10	東海學生
19	曾我・古川・立田		(名高商)3:52.2	振甫	9.10	東海學生
20	遊佐・川島・早川		(横濱ゴム)3:52.8	神宮	8.27	全國實業

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
廿傑平均今年度 3:42.62						
昨年度 3:41.985						
昨年度第一位 (日本A組) 3:21.4						

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
第十位 (廣島青年) 3:45.0						
第廿位 (中部A組) 3:51.0						

● ● ● ● ● 女子競泳之部 ● ● ● ● ●

50 米 自由形

1	岩橋佐和子	梶山女	33.6	清洲	8. 1	東海女子
2	立松 京子	名古屋	33.6	振甫	9.18	名京對抗
3	安富磨嗟枝	京都	34.2	振甫	9.18	名京對抗
4	永田喜奴子	苫津女	34.2	振甫	8.27	日本女子中
5	奥野 峯子	藤枝女	34.2	大濱	9. 4	静岡大會
6	宅間 美惠	羽衣女	34.3	大阪	7. 3	大阪市民
7	辻村喜代子	京府二女	34.4	振甫	8.28	日女子中
8	谷口美代子	二傑女	34.8	振甫	8.27	日女子中
9	坂口 よし	中泉女	34.8	大濱	9. 4	静岡大會
10	鈴木美代子	淑徳女	35.0	清洲	8. 7	愛女子中

十傑平均今年度 34.31
昨年度 34.07

11	大濱 愛子	東府女	35.2	神宮	8. 7	關東女子中
12	藤田 時子	中泉女	35.2	大濱	9. 4	静岡大會
13	高橋 みよ	伊東小	35.2	大濱	9. 4	静岡大會
14	吉田ミチ子	土肥女	35.4	廣二中	7.31	女山陽豫
15	佐野のぶ子	東府四女	35.6	振甫	8.27	日女子中
16	村岡 雪華	大阪十合	35.6	大阪	7. 3	大阪市民
17	酒井智恵子	梶山女	36.0	清泳	8. 1	東海女子
18	江間 絢子	臺北一女	36.0	振甫	8.27	日本女子中
19	矢田富美子	梶山女	36.4	清洲	9.24	名古屋水聯
20	熊岡 光枝	梶山女	36.6	振甫	9.25	名古屋市民

廿傑平均今年度 35.015
昨年度 34.905

昨年度第一位 谷口美代子 (京二條女) 32.6
第十位 坂口 よし (中泉女) 35.0
第廿位 天野とよめ (熊本) 36.2

100 米 自由形

1	小枝 蔦子	津山女	1:14.2	振甫	8.27	一般女子
2	立松 京子	名古屋	1:14.6	振甫	9.18	名京對抗
3	宅間 美惠	羽衣女	1:14.8	振甫	8.28	日女子中
4	飯島 富子	東府六女	1:15.0	振甫	8.28	日女子中
5	谷口美代子	二條女	1:16.4	甲子園	8.19	日本選手権
6	高橋 みよ	伊東小	1:16.6	大濱	9. 4	静岡大會

7	古田つね子	女體專	1:16.8	甲子園	8.20	日本選手権
8	坂口 よし	中泉女	1:17.6	振甫	8.27	日女子中
9	松村 旭子	山口女出	1:18.2	甲子園	8.20	日本選手権
10	鈴木美代子	名古屋	1:18.2	振甫	9.18	名京對抗

十傑平均本年度 1:16.24
昨年度 1:16.18

11	木村 繁子	梶山女	1:18.4	振甫	9. 4	中部日中等
12	三浦 ハナ	ゆかり會	1:18.4	振甫	8.27	一般女子
13	井上 三代	愛知一女	1:18.6	甲子園	8.20	日本選手権
14	岩橋佐和子	梶山女	1:18.6	振甫	8.13	名古屋市民
15	藤田 佳子	土佐女	1:19.4	甲子園	8.19	日本選手権
16	三鬼百合子	土肥女	1:19.6	廣二中	7. 1	女山陽豫
17	奥野 峯子	藤枝女	1:19.8	大濱	9. 4	静岡大會
18	吉田ミチ子	廣 島	1:20.0	廣二中	8. 7	廣島對基岩
19	立松 品子	梶山女	1:20.4	振甫	6.26	日大對東海
20	天野 貴子	土肥女	1:20.6	廣二中	7.31	女山陽豫

廿傑平均本年度 1:17.81
昨年度 1:17.82

昨年度第一位 谷口美代子 (京二條女) 1:14.8
第十位 鈴木美代子 (淑徳女) 1:17.2
第廿位 岩橋佐和子 (梶山女) 1:21.0

200 米 自由形

1	三浦 ハナ	横濱水	2:49.4	甲子園	8.21	日本選手権
2	宅間 美惠	羽衣女	2:50.0	甲子園	8.21	日本選手権
3	小枝 蔦子	津山女	2:50.0	振甫	8.27	一般女子
4	古田つね子	女體專	2:50.6	振甫	8.27	一般女子
5	谷口美代子	京二條	2:51.0	甲子園	8.21	日本選手権
6	立松 品子	梶山女	2:53.4	振甫	9.25	名古屋市民
7	井上 三代	愛知女	2:53.6	清洲	8. 1	東海女子
8	坂口 よし	中泉女	2:54.8	甲子園	8.21	日本選手権
9	立松 京子	梶山女	2:55.4	清洲	6.19	記念競泳
10	村岡 雪華	大阪十合	2:56.0	甲子園	8.20	日本選手権

十傑平均本年度 2:52.42
昨年度 2:53.91

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
11	梶田 廣子	淑徳女	2:56.2	甲子園	8.20	日本選手権
12	鈴木美代子	淑徳女	2:57.6	振甫	9.4	中部日中等
13	木村 繁子	椛山女	2:57.6	振甫	9.4	中部日中等
14	岩橋佐和子	椛山女	2:57.8	振甫	7.24	名古屋豫選
15	三鬼百合子	土肥女	2:58.6	廣二中	8.12	廣島豫選
16	吉田ミチ子	土肥女	2:59.8	甲子園	8.20	日本選手権
17	松井 和子	臺北一女	3:02.2	甲子園	8.20	日本選手権
18	村井 睦子	土佐女	3:03.4	甲子園	8.20	日本選手権
19	岸田 靜枝	京府二女	3:04.4	甲子園	8.20	日本選手権
20	高橋 みよ	伊東小	3:05.4	振甫	8.28	女子一般

廿傑平均本年度 2:56.36

昨年度 3:04.355

昨年度第一位 宅間 美惠 (羽衣高女) 2:51.2

第十位 秋山 幸子 (福 岡) 2:57.5

第廿位 上野 正子 (石川二女) 3:42.2

400 米 自 由 形

1	宅間 美惠	羽衣女	5:58.6	振甫	8.27	日本女子中
2	三浦 ハナ	横 水	6:01.4	甲子園	8.20	日本選手権
3	立松 品子	名古屋	6:05.0	振甫	9.18	名京對抗
4	永田喜奴子	苦津女	6:12.2	振甫	8.28	日本女子中
5	梶田 廣子	淑徳女	6:13.4	振甫	8.27	日女子中
6	三鬼百合子	廣 島	6:13.4	廣二中	8.7	廣島對臺灣
7	村岡 雪華	大阪十合	6:13.8	甲子園	8.30	日本選手権
8	北島 靜子	名古屋	6:14.0	振甫	9.18	名京對抗
9	岸田 靜枝	京 都	6:14.8	振甫	9.18	名京對抗
10	秋山 幸子	福 岡	6:15.4	大濠	8.25	西部本對抗

十傑平均今年度 6:10.20

昨年度 6:07.40

11	坂口 よし	中泉女	6:15.8	振甫	8.27	日女子中
12	井上 三代	愛知女	6:18.6	清洲	8.7	愛知女子中等
13	木村 繁子	椛山女	6:20.0	清洲	8.7	愛知女子中等
14	松井 和子	臺北一女	6:27.6	甲子園	8.19	日本選手権
15	天野 貴子	土肥女	6:28.8	廣二中	7.31	山陽女子
16	立松 京子	椛山女	6:29.4	振甫	5.29	合同練習
17	吉田ミチ子	廣 島	6:43.6	廣二中	8.7	廣島對臺灣
18	小澤ハツ子	東府四女	6:47.4	神宮	8.10	日本選手権
19	酒井智恵子	椛山女	6:49.0	振甫	7.24	名古屋豫選
20	先本 和子	臺北一女	6:51.8	甲子園	8.19	日本選手権

廿傑平均今年度 6:21.70

昨年度 6:1.8685

昨年度第一位 三鬼百合子 (土肥女) 6:00.6

第十位 立松 京子 (椛山女) 6:13.0

順位	氏名	所屬	時間	場所	月日	大會名
第廿位	森岡 恒子	(女子體專)	6:37.2			

100 米 平 泳

1	野中喜美子	東府四女	1:31.4	振甫	8.28	日女子中
2	中山 絹子	徳島女出	1:32.0	甲子園	8.20	日本選手権
3	南里千瑳子	神戸二女	1:33.0	甲子園	8.20	日本選手権
4	後藤 久子	臺 灣	1:33.0	廣二中	8.7	廣島對臺灣
5	梶岡 廣江	廣 島	1:34.2	廣二中	8.7	廣島對臺灣
6	原 日出子	女體專	1:34.6	神宮	8.10	關東豫選
7	山澤 春枝	臺 灣	1:34.8	大濠	8.4	福岡對臺灣
8	後藤 光子	淑徳女	1:35.5	振甫	7.24	名古屋豫選
9	東 トヨ	京 都	1:37.0	振甫	9.18	名京對抗
10	宮坂 ノブ	椛山女	1:37.0	振甫	8.27	日本女中等

十傑平均今年度 1:34.25

昨年度 1:33.04

11	飯澤須賀子	中泉女	1:37.4	甲子園	8.19	日本選手権
12	鈴木登美子	名古屋	1:37.6	振甫	9.18	名京對抗
13	奥田 明子	京府二女	1:37.8	振甫	8.27	日本女中等
14	町井 貞子	愛知一女	1:38.0	振甫	8.27	日本女子中等
15	大川喜美子	京府一女	1:38.8	甲子園	8.19	日本選手権
16	渡邊 幸子	椛山女	1:39.2	振甫	8.27	日本女子中等
17	王置加代子	椛山女	1:39.6	清洲	8.7	女名古屋
18	澤村 宜子	京府二女	1:40.0	振甫	8.27	日本女子中等
19	蔭山美佐子	東府四女	1:40.0	神宮	8.10	關東豫選
20	吉田 壽子	横水協	1:40.2	横濱	7.10	神奈川豫

廿傑平均今年度 1:36.56

昨年度 1:35.93

昨年度第一位 壺井宇乃子 (京 都) 1:30.6

第十位 村田三千子 (羽衣女) 1:37.2

第廿位 渡邊スミ子 (筑紫女) 1:30.4

200 米 平 泳

1	中山 絹子	徳島女出	3:17.8	振甫	8.28	一般女子
2	南里千理子	神戸二女	3:18.8	振甫	8.28	一般女子
3	野中喜美子	東府四女	3:20.4	振甫	8.28	日女子中
4	梶岡 廣江	廣 島	3:20.6	廣二中	8.7	廣島對臺灣
5	後藤 久子	臺 灣	3:21.0	廣二中	8.7	廣島對臺灣
6	原 日出子	女體專	3:22.8	神宮	8.10	關東豫選
7	大川貴美子	京府一女	3:23.4	甲子園	8.21	日本選手権
8	宮坂 ノブ	椛山女	3:25.0	振甫	7.28	名古屋豫選
9	平石富美子	長 崎	3:25.8	大濠	8.25	西日本對抗
10	鈴木登美子	名古屋	3:26.0	振甫	9.18	名京對抗

十傑平均今年度 3:22.16

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名

昨年度 3:20.40

11	奥田 明子	京府二女	3:27.0	振甫	8.28	日女子中
12	山澤 春枝	臺灣	3:27.4	大濠	8.4	福岡對臺灣
13	後藤 光子	淑徳女	3:27.8	振甫	7.24	名古屋豫選
14	町井 貞子	愛知一女	3:29.8	振甫	8.27	日女子中
15	葉室 初代	筑紫女	3:30.8	甲子園	8.20	日本選權
16	吉田 壽子	横濱小協	3:30.8	横濱	7.30	神奈川豫選
17	玉置加代子	椛山女	3:30.8	清洲	8.1	東海女子
18	飯澤須賀子	中泉女	3:31.6	甲子園	8.20	日本選手權
19	蔭山美佐子	東府四女	3:31.6	神宮	8.10	關東豫選
20	梶川田鶴子	土肥女	3:32.6	廣二中	7.31	山陽豫選

廿傑平均今年度 3:26.09

昨年度 3:25.46

昨年度第一位	壺井宇乃子 (京都)	3:14.5
第十位	原 日出子 (女日體)	3:26.6
第廿位	渡邊スミ子 (筑紫女)	3:34.0

50 米 背 泳

1	伊藤さとし	中泉女	39.0	甲子園	8.19	日本選手權
2	曾田 昌子	廣島女	39.4	甲子園	8.20	日本選手權
3	山本 うた	淑徳女	39.8	甲子園	8.20	日本選手權
4	畝川 澄枝	無所屬	40.0	廣二中	9.11	西日本女子
5	北島 靜子	椛山女	40.5	清洲	6.19	記念競泳
6	廣田喜久子	神戸二女	42.0	甲子園	8.14	兵庫豫選
7	山根 歌路	四條女	42.2	甲子園	8.19	日本選手權
8	北畑 文江	椛山女	42.2	振甫	8.27	日女子中等
9	新見美佐子	椛山女	42.2	振甫	8.27	日女子中等
10	片山佐智子	伊東小	42.4	大濱	9.4	静岡大會

十傑平均今年度 40.97

昨年度 41.03

11	有賀 吉	二條女	42.6	甲子園	8.20	日本選手權
12	松村 清子	土佐女	42.8	甲子園	8.19	日本選手權
13	西田 泰子	淑徳女	42.8	振甫	9.25	名古屋市民
14	井上 欣子	土佐女	43.0	甲子園	8.19	日本選手權
15	丸山ゆたか	臺中女	43.0	甲子園	8.19	日本選手權
16	保手濱政子	土肥女	43.4	振甫	8.27	日本女子中等
17	岩本 茂子	土肥女	43.4	廣二中	7.31	山陽女子
18	大久保ゆり	臺中女	43.6	廣二中	8.7	臺廣對抗
19	新畑 明子	京府一女	43.8	甲子園	8.11	日本選手權
20	吉田 文代	東府四女	43.8	神宮	8.10	關東豫選

廿傑平均今年度 42.095

昨年度 42.185

順位 氏名 所屬 時間 場所 月日 大會名

昨年度第一位	伊藤さとし (中泉女)	39.8
第十位	廣瀬ヒデ子 (東府六女)	42.0
第廿位	重富 妙子 (山口女)	44.3

200 米 背 泳

1	伊藤さとし	中泉女	1:26.0	甲子園	8.21	日本選手權
2	山本 ウタ	名古屋	1:26.2	振甫	9.18	名京對抗
3	畝川 澄枝	無所屬	1:27.4	中二廣	9.11	西日本女子
4	曾田 昌子	廣島女	1:27.8	廣二中	9.11	西日本女子
5	飯島 富子	東府六女	1:29.2	甲子園	8.21	日本選手權
6	北島 靜子	椛山女	1:30.0	清洲	6.19	記念競泳
7	新見美佐子	名古屋	1:30.8	振甫	9.18	名京對抗
8	北畑 文江	椛山女	1:32.0	清洲	8.7	愛知女子
9	松村 清子	土佐女	1:38.8	甲子園	8.20	日本選手權
10	井上 欣子	土佐女	1:38.8	甲子園	8.21	日本選手權

十傑平均今年度 1:29.72

昨年度 1:29.94

11	有賀 吉	京都	1:34.2	振甫	9.12	名京對抗
12	佐々木信子	平塚女	1:34.2	振甫	8.27	日本女子中
13	廣田善久子	神戸二女	1:34.6	甲子園	8.20	日本選手權
14	山根 歌路	四條女	1:36.4	甲子園	8.20	日本選手權
15	吉田 文代	千代田女	1:36.4	神宮	8.10	關東豫選
16	丸山 敏子	久留米女	1:37.0	大濠	7.4	福岡女子中等
17	丸山ゆたか	臺中女	1:37.2	振甫	8.27	日女子中等
18	大久保ゆり	臺北女	1:38.0	甲子園	8.20	日本選手權
19	西田 泰子	淑徳女	1:38.2	振甫	8.27	日本女子中
20	安藤須磨子	東山ク	1:38.2	清洲	6.19	記念競泳

廿傑平均今年度 1:33.08

昨年度 1:33.34

昨年度第一位	伊藤さとし (中泉女)	1:26.2
第十位	佐々木和子 (平塚女)	1:34.0
第廿位	鷺見 弘子 (神戸二女)	1:38.8

200 米 リ レ ー

1	立松(京)・岩橋・井上・鈴木 (名古屋)	2:15.0	振甫	9.18	名京對抗
2	辻村・安藤・岸田・谷口 (京都)	2:18.2	振甫	9.18	名京對抗
3	岩橋・立松(京)・立松(品)・木村 (椛山女)	2:19.8	振甫	8.28	日本女子中等
4	岩橋・立松(京)・木村・北畑 (椛山女)	2:21.0	清洲	8.1	東海女子
5	岩橋・北島・木村・北畑 (椛山女)	2:31.8	清洲	9.24	名古屋水聯

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
6	吉田・永井・三鬼・天野	(廣島)	2:23.2	廣二中	8.7	廣島對臺灣
7	藤田・伊藤・藤田・坂口	(中泉女)	2:23.6	振甫	8.28	日本女子中
8	西田・梶田・柴田・鈴木	(淑徳女)	2:24.2	振甫	8.27	日本女子中
9	藤田(あさ)・高木・藤田(時)・坂口	(中泉女)	2:24.4	大濱	9.4	静岡大會
10	松井・小川・江間・田中	(臺灣)	2:24.8	廣二中	8.7	廣島對臺灣

十傑平均今年度 2:21.60
 昨年度 2:22.83

11	梶田・加藤・西田・鈴木	(淑徳女)	2:25.2	清洲	8.7	愛知女子中
12	井上・大口・大西・芦原	(愛知一女)	2:26.0	振甫	8.27	日女子中
13	松井・小川・江間・田中	(臺灣)	2:26.2	大濠	8.24	西日本對抗
14	吉田・鈴木・三鬼・天野	(土肥女)	2:26.6	振甫	8.27	日女子中
15	梶田・柴田・大館・鈴木	(淑徳女)	2:27.4	振甫	9.24	名古屋古子
16	浅井・辻村・辻・岸田	(京府二女)	2:28.0	振甫	8.27	日本女子中
17	吉田・金本・三鬼・天野	(土肥女)	2:28.0	廣二中	7.31	山陽女子
18	井上・浅野・大西・芦原	(愛知一女)	2:28.8	清洲	8.7	愛知女中
19	梶田・加藤・大鐘・鈴木	(淑徳女)	2:29.2	清洲	8.1	東海女子
20	大澤・小澤・荻原・佐野	(東府四女)	2:29.2	神宮	8.7	關東女子

廿傑平均今年度 2:24.53
 昨年度 2:26.655
 昨年度第一位 (名古屋) 2:16.8
 第十位 (熊本) 2:27.4
 第廿位 (夕陽丘女) 2:33.0

400 米 リレー

1	立松(京)・北畑・木村・岩橋	(椛山女)	5:21.8	振甫	9.4	中部日本中等
2	北島・立松(京)・立松(品)・木村	(椛山女)	5:24.4	清洲	6.19	記念競泳

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
3	木村・立松(京)・北畑・立松(品)	(椛山女 A)	5:25.0	振甫	7.24	名古屋豫選
4	梶田・廣田・柴田・鈴木	(淑徳女)	5:32.6	振甫	9.4	中部日本中等
5	吉田・三鬼・天野・曾田	(廣島)	5:32.6	大濠	8.25	西日本對縣
6	梶田・加藤・大鐘・鈴木	(淑徳女)	5:28.8	清洲	6.19	記念競泳
7	梶田・柴田・大鐘・鈴木	(淑徳女)	5:39.4	振甫	8.13	名古屋市民
8	藤島・齋藤・村上・秋山	(福岡)	5:40.2	大濠	8.25	西日本對縣
9	岩橋・熊岡・酒井・矢田	(椛山女 B)	5:41.4	振甫	7.24	名古屋豫選
10	岩橋・酒井・熊岡・新美	(東山クラブ)	46.2	清洲	6.19	記念競泳

十傑平均今年度 5:34.24
 昨年度 5:24.82
 昨年度第一位 (名古屋) 5:15.2
 第十位 (横濱水) 5:38.8
 本年度廿傑ナシ

300 米メドレー・リレー

1	山本・宮坂・立松(京)	(名古屋)	4:20.4	振甫	9.18	名京對抗
2	伊藤・飯澤・坂口	(中泉女)	4:23.2	振甫	8.28	日本女子中
3	山本・後藤・鈴木	(淑徳女)	4:25.4	清洲	8.7	愛知女子
4	山本・後藤・梶田	(淑徳女)	4:26.5	振甫	7.24	名古屋豫選
5	山本・鈴木・鈴木	(淑徳女)	4:27.8	清洲	8.1	東海女子
6	北島・玉置・立松	(椛山女)	4:28.2	清洲	6.19	記念競泳
7	新美・宮坂・立松(京)	(椛山女)	4:28.6	振甫	8.28	日本女子中
8	北畑・宮坂・木村	(椛山女)	4:29.0	振甫	8.13	名古屋市民
9	有賀・東・谷口	(京都)	4:29.0	振甫	9.18	名京對抗

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
10	有賀・山下・谷口	(京二條女)	4:30.8	振甫	8.28	日本女子中
十傑平均今年度 4:26.89 昨年度 4:22.84						
11	北畑・宮坂・岩橋	(椛山女)	4:31.2	振甫	8.27	日本女子中
12	山本・堀部・鈴木	(淑徳女)	4:31.6	振甫	9.24	名古屋水聯
13	北島・宮坂・立松(京)	(椛山女)	4:31.8	振甫	7.24	名古屋選
14	新美・宮坂・岩橋	(椛山女)	4:32.2	振甫	9.24	名古屋水聯
15	飯島・金山・佐藤	(東府六女)	4:39.2	神宮	8.7	關東女子

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
16	有賀・山下・安富	(京二條女)	4:40.6	振甫	8.27	日本女子中
17	岩本・天野・三鬼	(土肥女)	4:42.4	振甫	8.27	日本女子中
18	大森・町井・井上	(愛知一女)	4:42.8	振甫	8.13	名古屋市民
19	天野・岩本・梶川	(土肥女)	4:43.6	廣二中	7.31	女子山陽溪
20	新見・宮坂・岩橋	(東山クラブ)	4:45.7	清洲	6.19	記念競泳
廿傑平均今年度 4:32.50 昨年度 4:31.055 昨年度第一位 (愛知淑徳) 4:19.1 第十位 (臺灣) 4:27.8 第廿位 (久留米女) 4:51.6						

飛 込 十 傑 表

本年度十傑表は日本選手権大會を中心とし日本學生大會關東選手権等の競技會を参考として詮衡す。

男子飛込之部

飛 板	飛 込
1 柴原恒雄	日大
2 小柳富男	稻泳會
3 久保欣治	第三神港
4 高濱武志	第三神港
5 井上一男	福井高工
6 北田舜次	慶大
7 森英之	日大
8 毛利元英	日大
9 加茂正美	稻泳會
10 岩佐道雄	慶大

高 飛 込	高 飛 込
1 柴原恒雄	日大
2 小柳富男	稻泳會
3 瓶子喜己	稻泳會
4 細谷幸四郎	日大
5 矢野幸松	慶大
6 奥田正勝	明大
7 北田舜次	慶大
8 加茂正美	稻泳會
9 奥島經一郎	慶大
10 山田一男	明大

女子飛込之部

飛 板	飛 込
1 大澤マサ代	三省堂水泳部
2 大澤禮子	美津濃水泳部
3 横山周子	關西女子水泳クラブ
4 立松文子	椛山女學園
5 田中キヨ	東府立第六ワカバクラブ
6 島崎惠美子	無所屬
7 岸正枝	關西女子水泳クラブ
8 内海通多子	東府立第六女
9 光永和子	常盤松女
10 小島房枝	府立第六女

高 飛 込	高 飛 込
1 大澤禮子	美津濃水泳部
2 田中キヨ	東府立第六クラブ
3 横山周子	關西女子水泳クラブ
4 立松文子	椛山女學園
5 大澤マサ代	三省堂水泳部
6 林悦子	無所屬
7 小島房枝	東府立第六女
8 島崎惠美子	無所屬
9 内海通多子	東府立第六女
10 光永和子	常盤松女

昭和十三年度

中等學校競泳十傑表

日本水上競技聯盟

本聯盟及加盟團體開催ノ公認セル競技會成績ヨリ、中等學校
十傑表ヲ作成シ發表ス。

男子之部

100米自由形

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
1	小柳 清志	中京商	1:01.6	振甫	9.4	中部日本中等
2	中川 要	白杵中	1:02.2	白杵中	9.12	大分中等
3	重山 孝	加治木中	1:02.6	神宮	8.7	日本中等
4	太田 忠勝	都島工	1:02.8	甲子園	8.19	日本選手權
5	山下 欣一	濱一中	1:03.0	甲子園	8.19	日本選手權
6	彌津 三郎	静岡中	1:03.4	神宮	8.7	日本中等
7	牧野 兵庫	伊都中	1:03.4	神宮	8.7	日本中等
8	白山 勝三	灘中	1:03.6	神宮	8.6	日本中等
9	太田 黒八郎	濟々費	1:03.7	大濠	7.30	西部中等
10	園 盛保	濱一中	1:04.0	濱二中	6.19	東海中等

十傑平均 1:03.03
 昨年度第一位 1:02.4 杉田芳郎(中京商)
 第十位 1:05.0 香川莊一(桃山商)
 平均 1:04.4

200米自由形

1	宮本 茂	多度津中	2:15.8	甲子園	8.21	日本選手權
2	小柳 清志	中京商	2:19.4	神宮	8.7	日本中等
3	小野 猛夫	京二商	2:22.0	甲子園	7.31	中部中等
4	牧野 兵庫	伊都中	2:23.2	神宮	8.7	日本中等
5	關 盛保	濱一中	2:23.4	神宮	7.31	東部中等
6	山下 欣一	濱一中	2:23.4	神宮	7.31	東部中等
7	平野 亮平	臺北商	2:26.0	甲子園	8.20	日本選手權
8	彌津 三郎	静岡中	2:27.2	神宮	7.31	東部中等
9	淺野 俊雄	中京商	2:27.2	清洲	9.24	名古屋水聯
10	土屋 彰	沼津中	2:27.4	神宮	8.6	日本中等

十傑平均 2:23.58
 昨年度第一位 2:19.2 宮本茂(多度津中)
 第十位 2:27.8 伊藤猛(見付中)

順位 氏名 所屬 時間 場所 期日 大會名

平均 2:23.08

400米自由形

1	宮本 茂	多度津中	4:56.0	神宮	8.7	日本中等
2	岩田 務	岐阜商	5:03.8	甲子園	7.31	中部中等
3	淺野 俊夫	中京商	5:06.6	甲子園	8.19	日本選手權
4	松山 正一	中泉農	5:09.8	神宮	7.31	東部中等
5	小倉彌太郎	和歌山商	5:10.2	神宮	8.7	日本中等
6	竹内 定夫	東邦商	5:11.2	甲子園	7.30	中部中等
7	太田 光雄	中京商	5:11.4	神宮	8.6	日本中等
8	宇田 守榮	高知商	5:11.6	甲子園	8.19	日本選手權
9	友成 靖	臺中二中	5:13.8	大濠	8.4	臺灣對福岡
10	中町 道廣	高知商	5:14.2	甲子園	7.30	中部中等

十傑平均 5:08.86
 昨年度第一位 5:01.0 宮本 茂(多度津中)
 第十位 5:14.6 杉浦充夫(長岡中)
 平均 5:08.64

800米自由形

1	岩田 務	岐阜商	10:38.0	甲子園	7.31	中部中等
2	宇田 守榮	高知商	10:38.8	神宮	8.7	日本中等
3	淺野 俊雄	中京商	10:40.8	甲子園	8.20	日本選手權
4	村山 修一	伊都中	10:44.2	神宮	8.7	日本中等
5	太田 光雄	中京商	10:49.2	神宮	8.6	日本中等
6	小倉彌太郎	和歌商	10:50.5	甲子園	7.31	中部中等
7	松山 正一	中泉農	10:51.8	神宮	7.31	東部中等
8	友成 靖	臺北商	10:54.0	廣二中	8.7	臺灣 廣島
9	竹内 定夫	東邦商	10:55.0	濱一中	6.19	東海中等
10	中町 道廣	高知商	10:59.0	甲子園	7.30	中部中等

十傑平均 10:48.13
 昨年度第一位 10:31.8 松山正一(中泉農)

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
第十位			10:59.0	荒井道雄(掛川中)		
平均			10:46.45			

100米 平 泳

1	田畑 三郎	京二商	1:17.8	神宮	8.7	日本中等
2	深野 富雄	早 實	1:19.2	甲子園	8.19	日本選手權
3	松田 隆吉	城東商	1:19.8	神宮	8.7	日本中等
4	澤井 湛	廣二中	1:20.8	甲子園	7.31	中部中等
5	松原 正次	耐久中	1:21.0	神宮	8.7	日本中等
6	加藤 久男	袋井商	1:21.4	神宮	7.30	東部中等
7	野口正三郎	高知商	1:21.8	甲子園	7.30	中部中等
8	山口 陽 灘	中	1:22.0	神宮	8.6	日本中等
9	石原 義輝	中京商	1:22.0	振甫	9.25	名古屋市民
10	吉田 勇	和歌商	1:22.8	甲子園	7.30	中部中等

十傑平均	1:20.86		
昨年度第一位	1:18.4	古川 敏(佐賀中)	
第十位	1:22.8	三木嘉造(天王寺師)	
平均	1:21.91		

200米 平 泳

1	田畑 三郎	京二商	2:52.0	甲子園	8.21	日本選手權
2	松原 正次	耐久中	2:54.6	甲子園	8.21	日本選手權
3	加藤 久男	袋井商	2:56.4	神宮	7.30	東部中等
4	深野 富雄	早 實	2:59.6	神宮	8.6	日本中等
5	藤垣亮太郎	茨木中	2:59.6	甲子園	7.30	中部中等
6	吉田 勇	和歌商	3:00.0	神宮	8.7	日本中等
7	木村 龍雄	東邦商	3:00.2	振甫	9.4	中部日本中等
8	小幡 令二	濱一中	3:00.4	神宮	8.6	日本中等
9	澤井 湛	廣二中	3:02.4	甲子園	7.31	中部中等
10	伊藤 金一	中京商	3:03.2	振甫	9.4	中部日本中等

十傑平均	2:58.84		
昨年度第一位	2:54.0	加藤 久男(袋井商)	
第十位	3:02.8	若林富士雄(富士中)	
平均	2:58.87		

100米 背 泳

1	妙中 要造	伊都中	1:12.8	甲子園	7.31	中部中等
2	松本 進	松山商	1:13.0	甲子園	8.21	日本選手權
3	服部 義治	津島中	1:13.2	振甫	9.4	中部日本中等
4	長谷川黃一	函館商	1:14.8	神宮	8.7	日本中等
5	谷口 五郎	廣二中	1:14.8	神宮	8.6	日本中等
6	兒玉 秀彦	佐伯中	1:15.0	白杵中	7.17	東九州豫選
7	藤井敬次郎	濱一中	1:15.8	大濱	9.4	静岡大會
8	澤田 經久	一宮中	1:16.6	清洲	9.24	名古屋水聯
9	山田 又一	中京商	1:16.6	振甫	9.25	名古屋市民
10	江口 正人	岡山二中	1:16.8	甲子園	7.31	中部中等

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
十傑平均			1:14.94			
昨年度第一位			1:12.2	鷺谷光明(宮城工)		
第十位			1:16.4	小松茂彦(安藝中)		
平均			1:15.09			

200米 背 泳

1	妙中 要造	伊都中	2:38.6	甲子園	7.31	中部中等
2	松本 進	松山商	2:39.8	神宮	8.7	日本中等
3	藤井敬次郎	濱一中	2:43.8	神宮	8.7	日本中等
4	谷口 五郎	廣二中	2:44.8	神宮	8.6	日本中等
5	大杉 信孝	中泉農	2:45.4	神宮	8.6	日本中等
6	服部 義治	津島中	2:46.8	甲子園	7.30	中部中等
7	長谷川黃一	函館商	2:48.2	神宮	7.30	東部中等
8	田原 照雄	修道中	2:50.4	廣二中	6.19	廣島中等
9	江口 正人	岡山二商	2:50.8	甲子園	7.30	中部中等
10	水町 雄吉	修猷館中	2:51.0	神宮	8.6	日本中等

十傑平均	2:45.96		
昨年度第一位	2:37.8	鷺谷光明(宮城工)	
第十位	2:48.2	井上秀雄(城東中)	
平均	2:44.23		

200米 リレ -

1	白杵中學	1:55.6	白杵中	9.12	大分中等
	(菅・古木・濱田・中川)				
2	伊都中學	1:55.8	神宮	8.6	日本中等
	(川合・中島・鳥居・牧野)				
3	沼津中學	1:56.0	神宮	7.31	東部中等
	(田中・梶・安藤・土屋)				
4	中京商業	1:56.4	神宮	8.6	日本中等
	(水野・武智・服部・小柳)				
5	静岡中學	1:57.0	神宮	8.6	日本中等
	(加藤・天野・高木・彌津)				
6	高知商業	1:58.0	神宮	8.6	日本中等
	(中町・大野・高崎・宇田)				
7	高知城東商業	1:58.0	甲子園	7.30	中部中等
	(西田・矢作・田中・小松)				
8	濱松一中	1:58.2	神宮	8.6	日本中等
	(園・鈴木・田牧・山下)				
9	岐阜商業	1:58.8	濱二中	6.19	東海中等
	(宮川・小阪井・田中・岩田)				
10	濱松農蠶	1:59.0	大濱	9.4	静岡大會
	(金子・松山・早川・黒柳)				

十傑平均	1:57.28		
昨年度第一位	1:55.4	伊都中學	
第十位	1:59.8	廣島二中	
平均	1:58.10		

800 米 リレー

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
1	岐阜商業	(田中・小阪井・宮川・岩田)	9:43.6	神宮	8.7	日本中等
2	中京商業	(淺野・小野・太田・小柳)	9:44.0	神宮	8.7	日本中等
3	伊都中學	(川合・中島・村山・牧野)	9:49.4	神宮	8.7	日本中等
4	白杵中學	(中川・古木惣・濱田・古木榮)	9:58.9	白杵中	7.17	東九州豫選
5	高知商業	(宮崎・大野・中町・宇田)	10:05.0	甲子園	7.31	中部中等
6	廣島一中	(渡邊・山下・大森・金栴)	10:05.4	甲子園	7.31	中部中等

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
7	東邦商業	(山田・竹内・忠内・齋藤)	10:08.8	甲子園	7.31	中部中等
8	濱松一中	(園・田牧・藤井・山下)	10:12.0	神宮	7.31	東部中等
9	東邦商業	(齋藤・山田・竹内・幸村)	10:12.6	振甫	9.4	中部日本中等
10	濱松農蠶	(松山・早川・黒柳・金子)	10:15.2	神宮	7.31	東部中等
十傑平均			10:01.49			
昨年度第一位			9:50.0	伊都中學		
第十位			10:21.6	沼津中學		
平均			10:11.0			

● ● ● 女子之部 ● ● ●

50 米 自由形

1	岩橋佐和子	椛山女	33.6	清洲	8.1	東海女子
2	立松京子	椛山女	33.6	振甫	9.18	名京對抗
3	安富磨瑛枝	二條女	34.2	振甫	9.18	名京對抗
4	永田喜奴子	苫津女	34.2	振甫	8.27	日本女子中等
5	奥野峯子	藤枝女	34.2	大濱	9.4	静岡大會
6	宅間美惠	羽衣女	34.3	大阪	7.3	大阪市民
7	辻村喜代子	京府二女	34.4	振甫	8.28	日本女子中等
8	谷口美代子	二條女	34.8	振甫	8.27	日本女子中等
9	坂口よし	中泉女	34.8	大濱	9.4	静岡大會
10	鈴木美代子	淑徳女	35.0	清洲	8.7	愛知女子中等
十傑平均			34.31			
昨年度第一位			32.6	谷口美代子(二條女)		
第十位			35.0	坂口よし(中泉女)		
平均			34.07			

100 米 自由形

1	小枝 薫子	津山女	1:14.2	振甫	8.27	一般女子
2	立松京子	椛山女	1:14.6	振甫	9.18	名京對抗
3	宅間美惠	羽衣女	1:14.8	振甫	8.28	日本女子中等
4	飯島富子	東府六女	1:15.0	振甫	8.28	日本女子中等
5	谷口美代子	二條女	1:16.4	甲子園	8.19	日本選手權
6	坂口よし	中泉女	1:17.6	振甫	8.27	日本女子中等
7	鈴木美代子	淑徳女	1:18.2	振甫	9.18	名京對抗
8	木村 繁子	椛山女	1:18.4	振甫	9.4	中部日本中等
9	井上 三代 愛知一女	甲子園	1:18.6	甲子園	8.20	日本選手權
10	岩橋佐和子	椛山女	1:18.6	振甫	8.13	中古屋市民
十傑平均			1:16.60			
昨年度第一位			1:14.8	谷口美代子(二條女)		

第十位 1:17.2 鈴木美代子(淑徳女)
平均 1:16.18

200 米 自由形

1	宅間美惠	羽衣女	2:50.0	甲子園	8.21	日本選手權
2	小枝 薫子	津山女	2:50.0	振甫	8.27	一般女子
3	谷口美代子	二條女	2:51.0	甲子園	8.21	日本選手權
4	立松品子	椛山女	2:53.4	振甫	8.13	名古屋市民
5	井上 三代 愛知一女	清洲	2:53.6	清洲	8.1	東海女子
6	坂口よし	中泉女	2:54.8	甲子園	8.21	日本選手權
7	立松京子	椛山女	2:55.4	清洲	6.19	記念競泳
8	梶田宏子	淑徳女	2:56.2	甲子園	8.20	日本選手權
9	鈴木美代子	淑徳女	2:57.6	振甫	9.4	中部日子中等
10	木村 繁子	椛山女	2:57.6	振甫	9.4	中部日本中等
十傑平均			2:53.96			
昨年度第一位			2:51.2	宅間美惠(羽衣女)		
第十位			2:57.5	秋山幸子(久留米女)		
平均			2:53.91			

400 米 自由形

1	宅間美惠	羽衣女	5:58.6	振甫	8.27	日本女子中等
2	立松品子	椛山女	6:05.0	振甫	9.18	名京對抗
3	永田喜奴子	苫津女	6:12.2	振甫	8.28	日本女子中等
4	梶田廣子	淑徳女	6:13.4	振甫	8.27	日本女子中等
5	三鬼百合子	土肥女	6:13.4	廣二中	8.7	臺灣對廣島
6	北島 靜子	椛山女	6:14.0	振甫	9.18	名京對抗
7	岸田 靜枝	京府二女	6:14.8	振甫	9.18	名京對抗
8	坂口よし	中泉女	6:15.8	振甫	8.27	日本女子中等
9	井上 三代 愛知一女	清洲	6:18.6	清洲	8.7	愛知女子中等
10	木村 繁子	椛山女	6:20.0	清洲	8.7	愛知女子中等

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
	十傑平均		6:12.58			
	昨年度第一位		6:00.6	三鬼百合子(土肥女)		
	第十位		6:13.0	立松京子(椋山女)		
	平均		6:07.40			

100 米 平 泳

1	野中貴美子	東府四女	1:31.4	振甫	8.28	日本女子中等
2	南里千嵯子	神戸二女	1:33.0	甲子園	8.20	日本選手権
3	後藤久子	臺北一女	1:33.0	廣二中	8.7	臺灣對廣島
4	山澤春枝	臺中女	1:34.8	大濠	8.4	臺灣對福岡
5	後藤光子	淑徳女	1:35.5	振甫	7.24	名古屋豫選
6	東トヨ	京府一女	1:37.0	振甫	9.18	名京對抗
7	宮坂ノブ	椋山女	1:37.0	振甫	8.27	日本女子中等
8	飯澤須賀子	中泉女	1:37.4	甲子園	8.19	日本選手権
9	鈴木登美子	淑徳女	1:37.6	振甫	9.18	名京對抗
10	奥田明子	京府二女	1:37.8	振甫	8.28	日本女子中等

十傑平均	1:35.45
昨年度第一位	1:31.0 南里千嵯子(神戸二女)
第十位	1:38.0 山名壽子(廣島市女)
平均	1:34.58

200 米 平 泳

1	南里千嵯子	神戸二女	3:18.8	振甫	8.28	一般女子
2	野中喜美子	東府四女	3:20.4	振甫	8.28	日本女子中等
3	後藤久子	臺北一女	3:21.0	廣二中	8.7	臺灣對廣島
4	大川貴美子	京府一女	3:23.4	甲子園	8.21	日本選手権
5	宮坂ノブ	椋山女	3:25.0	振甫	7.24	名古屋豫選
6	平石富美子	長崎女	3:25.8	大濠	8.25	西日本對抗
7	鈴木登美子	淑徳女	3:26.0	振甫	9.18	名京對抗
8	奥田明子	京府二女	3:27.0	振甫	8.28	日本女子中等
9	山澤春枝	臺中女	3:27.4	大濠	8.4	臺灣對福岡
10	後藤光子	淑徳女	3:27.8	振甫	7.24	名古屋豫選

十傑平均	3:24.25
昨年度第一位	3:15.4 村尾充子(長崎女)
第十位	3:29.3 山名壽子(廣島市女)
平均	3:22.06

50 米 背 泳

1	伊藤ささこ	中泉女	39.0	甲子園	8.19	日本選手権
2	曾田昌子	廣島女	39.4	甲子園	8.20	日本選手権
3	山本うた	淑徳女	39.8	甲子園	8.20	日本選手権
4	北島静子	椋山女	40.5	清洲	6.19	記念競泳
5	廣田喜久子	神戸二女	42.0	甲子園	8.14	兵庫豫選
6	山根歌路	四條環女	42.2	甲子園	8.19	日本選手権
7	北畑文江	椋山女	42.2	振甫	8.27	日本女子中等
8	新見美佐子	椋山女	42.2	振甫	8.27	日本女子中等
9	有賀吉	二條女	42.6	甲子園	8.20	日本選手権

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
10	松村清子	土佐女	42.8	甲子園	8.19	日本選手権
	十傑平均		41.27			
	昨年度第一位		39.8	伊藤ささこ(中泉女)		
	第十位		42.0	廣瀬ヒデ子(東府六女)		
	平均		41.03			

100 米 背 泳

1	伊藤ささこ	中泉女	1:26.0	甲子園	8.21	日本選手権
2	山本うた	淑徳女	1:26.2	振甫	9.18	名京對抗
3	曾田昌子	廣島女	1:28.8	廣二中	7.31	女子山陽豫選
4	飯島富子	東府六女	1:29.2	甲子園	8.21	日本選手権
5	北島静子	椋山女	1:30.0	清洲	6.19	記念競泳
6	新見美佐子	椋山女	1:30.8	振甫	9.18	名京對抗
7	北畑文江	椋山女	1:32.0	清洲	8.7	愛知女子中等
8	松村清子	土佐女	1:33.8	甲子園	8.20	日本選手権
9	井上欣子	土佐女	1:34.2	甲子園	8.21	日本選手権
10	有賀吉	二條女	1:34.2	振甫	9.18	名京對抗

十傑平均	1:30.50
昨年度第一位	1:26.2 伊藤ささこ(中泉女)
第十位	1:34.0 佐々木和子(平塚女)
平均	1:29.94

200 米 リレー

1	椋山女学園	2:19.8	振甫	8.28	日本女子中等
	(岩橋・立松京・立松品・木村)				
2	椋山女学園	2:21.0	清洲	8.1	東海女子
	(岩橋・立松京・木村・北畑)				
3	椋山女学園	2:21.8	清洲	9.24	名古屋水聯
	(岩橋・北島・木村・北畑)				
4	中泉高女	2:23.6	振甫	8.28	日本女子中等
	(藤田アサ・伊藤・藤田時・坂口)				
5	淑徳高女	2:24.2	振甫	8.27	日本女子中等
	(西田・梶田・柴田・鈴木)				
6	中泉高女	2:24.4	大濱	9.4	静岡大會
	(藤田アサ・高木・藤田時・坂口)				
7	淑徳高女	2:25.2	清洲	8.7	愛知女子中等
	(梶田・加藤・西田・鈴木)				
8	愛知一女	2:26.0	振甫	8.27	日本女子中等
	(井上・大口・大西・蘆原)				
9	土肥高女	2:26.6	振甫	8.27	日本女子中等
	(吉田・鈴木・三鬼・天野)				
10	淑徳高女	2:27.4	振甫	9.24	名古屋水聯
	(梶田・柴田・大箱・鈴木)				

十傑平均	2:24.00
昨年度第一位	2:17.8 椋山女学園
第十位	2:30.8 苫津女学園
平均	2:25.41

300 米メドルーリレー

順位	氏名	所屬	時間	場所	期日	大會名
1	中泉高女	伊藤・飯澤・坂口	4:23.2	振甫	8.28	日本女子中等
2	淑徳高女	山本・後藤・鈴木	4:25.4	清洲	8.7	愛知女子中
3	淑徳高女	山本・後藤・梶田	4:26.5	振甫	7.24	名古屋豫選
4	淑徳高女	山本・鈴木登・鈴木美	4:27.8	清洲	8.1	東海女子
5	椋山女學園	北島・玉置・立松京	4:28.2	清洲	6.19	記念競泳
6	椋山女學園	新見・宮坂・立松京	4:28.6	振甫	8.28	日本女子中等

順位	校名	所屬	時間	場所	期日	大會名
7	椋山女學園	北畑・宮坂・木村	4:29.0	振甫	8.13	名古屋市民
8	二條高女	有賀・山下・谷口	4:30.8	振甫	8.28	日本女子中等
9	椋山女學園	北畑・宮坂・岩橋	4:31.2	振甫	8.27	日本女子中等
10	淑徳高女	山本・堀部・鈴木	4:31.6	振甫	9.24	名古屋水聯
十傑平均			4:28.23			
昨年度第一位			4:19.1	淑徳高女		
第十位			4:38.2	廣島市女		
平均			4:23.31			

昭和十三年度 全國小學校兒童水泳競技會

最優校

尋男	田邊第一小學校	和歌山
尋女	橋本小學校	和歌山
高男	入出小學校	靜岡
高女	九度山小學校	和歌山

小學兒童水泳獎勵實施要項

1. 小學校兒童競技會ハ各地方團體ノ公認スルモノナルコト。
2. 該競技會水泳場ハ原則トシテ公認ナル事ヲ要スルモ公認プール無キ土地ニ於テハ卷尺ノ測定ニテ所
要長サ以上ナルモノヲ使用スル事。
3. 計時ハ一人ニ付キ時計三個ヲ必要トシ聯盟規定ニヨル。
4. 時計ノ檢定法ハ少クトモラヂオ時報（正午ト午後九時半）ニテ合ハセル事。
5. 水泳着着用ノ事。
6. 尋常、高等別及男女別ノ四種類ニテ過年度兒童ハ認メズ。
7. 競技種目左ノ如シ

尋常科	自由形	男	50	100	200
同	同	女	50	100	
同	背泳	男	50	100	
同	同	女	50	100	
同	平泳	男	100	200	
同	同	女	100	200	
同	リレー	男		200	
同	同	女		200	

高等科	自由形	男	100	200	400
同	同	女	50	100	200
同	背 泳	男	50	100	
同	同	女	50	100	
同	平 泳	男	100	200	
同	同	女	100	200	
同	リレー	男	400		
同	同	女	200		

8. 各種目ノ最優十名ニ賞状ヲ送り、最優十名表中ニ最大人數ヲ出セル學校ヲ最優賞校トシ、但シリレーハ一個人同様ト看做ス。同人數ノ場合ハ一等十點。二等九點。三等八點、四等七點、五等六點、六等五點、七等四點、八等三點、九等二點、十等一點トシテ計算ス、但シ同一人ニテ二種目以上ノ得點ノ場合ニ於テハ最優秀點一ツノミヲ計算シ得點多寡ニ依リ最優校ヲ定ム。
9. 競技記録提出期間ハ四月以降ノ記録ヲ其年ノ九月末日迄。
10. 毎年十月中ニ最優校及最優勝ヲ決定シ發表ス。
11. 大會記録ハ各加盟團體ヲ通ジ聯盟本部ニ提出ノコト。

昭 和 十 三 年 度

小 學 校 兒 童 水 泳 十 優 表

日 本 水 上 競 技 聯 盟

● ● ● 尋 男 之 部 ● ● ●

50 米 自 由 形

順位	氏 名	校 名	所屬團體	時 間	大會名
1.	菊地富士夫 (波 浮)	東 京	東 京	33.6	東 京
2.	北澤 一郎 (宇佐美)	靜 岡	靜 岡	35.4	靜 岡
2.	須藤 彰 (青 木)	橫 濱	神奈川	35.4	神奈川
4.	薄葉 勇 (品川原)	東 京	東 京	35.8	東 京
5.	榎本 公一 (九度山)	兵 庫	關 西	36.0	關 西
5.	白井 龜雄 (元 村)	東 京	東 京	36.0	東 京
5.	嘉山 徳松 (長 井)	橫 濱	神奈川	36.0	神奈川
8.	飯田金司郎 (福 田)	濱 名	濱 名	36.2	濱 名
8.	中野 唯士 (橫 濱)	廣 島	廣 島	36.2	廣 島
10.	眞島 和夫 (河原田)	新 潟	新 潟	36.4	新 潟

平 均 35.7

昨 年 度 35.3

昨年度第一位 森隆 夫 (宇佐美) 34.6

吉田 豊次 (野 崎) 36.4

100 米 自 由 形

1.	池田 哲也 (入 出)	靜 岡	靜 岡	1:21.0	靜 岡
2.	北澤 一郎 (宇佐美)	靜 岡	靜 岡	1:22.8	靜 岡
3.	小郷和司郎 (田邊一)	和歌山	和歌山	1:23.0	和歌山
4.	眞島 和夫 (河原田)	新 潟	新 潟	1:23.3	新 潟
5.	菅沼 幸次 (新 所)	靜 岡	靜 岡	1:23.8	靜 岡
5.	中野 唯士 (橫 濱)	廣 島	廣 島	1:23.8	廣 島
7.	池田 久雄 (入 出)	濱 名	濱 名	1:24.4	濱 名
8.	加藤 利男 (福 田)	濱 名	濱 名	1:24.8	濱 名
9.	藤田憲太郎 (村 櫛)	濱 名	濱 名	1:25.2	濱 名
10.	齋藤 國松 (金 泉)	新 潟	新 潟	1:25.4	新 潟
10.	嘉山 徳松 (長 井)	橫 濱	神奈川	1:25.4	神奈川
10.	平野 清一 (妙 寺)	和歌山	和歌山	1:25.4	和歌山

平 均 1:24.02

昨 年 度 1:19.9

昨年度第一位 妙中 豊次 (妙 寺) 1:16.2

順位 氏名 校名 所属團體 時間 大會名

第十位 井澤 信親 (鷺津) 1:22.8

200 米 自由形

- 池田 哲也 (入出) 濱名 2:54.6 濱名
- 加藤 恭壽 (雄踏) 濱名 3:00.8 濱名
- 千間 正一 (田邊一) 和歌山 3:01.8 和歌山
- 池田 久雄 (入出) 濱名 3:02.4 濱名
- 井上 弘一 (橋本) 和歌山 3:10.5 和歌山
- 中根 勇 (村櫛) 濱名 3:12.8 濱名
- 藤本 岩雄 (妙寺) 和歌山 3:13.7 和歌山
- 山東 一夫 (東野上) 和歌山 3:14.8 和歌山
- 細田 實 (佃島) 東京 3:16.0 東京
- 前田 信治 (富士見) 東京 3:17.6 東京

平均 3:08.5

昨年度 3:56.7

昨年度第一位 妙中 豊治 (妙寺) 2:48.6

第十位 岸程 一 (長井) 3:03.0

100 米 平泳

- 宮本 久計 (妙寺) 和歌山 1:39.2 和歌山
- 宮下 三郎 (附小) 和歌山 1:39.7 和歌山
- 柴田 圓二 (日代) 臼杵 1:40.0 東九州
- 平山勝次郎 (田邊一) 和歌山 1:41.5 和歌山
- 秋野 利夫 (相川) 新潟 1:43.0 新潟
- 金子 義夫 (佃島) 東京 1:43.4 東京
- 五味 彰 (田邊一) 和歌山 1:44.2 和歌山
- 大野 虎雄 (明治) 名古屋 1:44.6 名古屋
- 海堀 昌和 (九度山) 和歌山 1:45.2 和歌山
- 杉田 伸 (村櫛) 濱名 1:45.2 濱名
- 中野 新次 (妙寺) 和歌山 1:45.2 和歌山
- 打井啓一郎 (日方) 和歌山 1:45.2 和歌山

平均 1:43.03

昨年度 1:37.9

昨年度第一位 岡本 益信 (横濱) 1:35.4

第十位 石崎 勝 (泊) 1:41.7

200 米 平泳

- 河入 植 (野崎) 和歌山 3:33.7 和歌山
- 柴田 圓二 (日代) 臼杵 3:35.3 東九州
- 宮本 久計 (妙寺) 和歌山 3:35.9 和歌山
- 平山勝次郎 (田邊一) 和歌山 3:37.4 和歌山
- 打井啓一郎 (日方) 和歌山 3:38.6 和歌山
- 藤井 政彦 (麴町) 東京 3:40.8 東京
- 五味 彰 (田邊一) 和歌山 3:42.2 和歌山

順位 氏名 校名 所属團體 時間 大會名

8. 太田 廣忠 (麴町) 東京 3:47.0 東京
9. 中野 新次 (妙寺) 和歌山 3:47.3 和歌山
10. 屋代金太郎 (佃島) 東京 3:53.0 東京

平均 3:41.12

昨年度 3:39.6

昨年度第一位 宮本 安夫 (妙寺) 3:32.1

第十位 尾形 安三 (麴町) 3:48.0

50 米 背泳

1. 本間利左門 (七浦) 新潟 42.4 新潟
2. 飯田金司郎 (福田) 静岡 43.6 静岡
3. 小澤 幸夫 (長井) 横濱 44.2 神奈川
4. 開發日出夫 (田邊一) 和歌山 44.8 和歌山
5. 鈴木善一郎 (南押切) 名古屋 45.0 名古屋
5. 三木 英夫 (相川) 新潟 45.0 新潟
7. 米富 行衛 (青木) 横濱 45.4 神奈川
8. 上西喜代士 (九度山) 兵庫 46.0 關西
8. 佐藤 忠 (日代) 臼杵 46.0 東九州
10. 生川 泰教 (明治) 名古屋 46.4 名古屋
10. 瀧井 一郎 (九度山) 兵庫 46.4 關西

平均 45.01

昨年度 43.5

昨年度第一位 川口 清 (静岡) 42.4

第十位 岡 純男 (田邊一) 45.1

100 米 背泳

1. 飯田金司郎 (福田) 濱名 1:36.0 濱名
2. 菅沼 正保 (新所) 濱名 1:37.4 濱名
2. 中根 勇 (村櫛) 濱名 1:37.4 濱名
4. 開發日出夫 (田邊一) 和歌山 1:39.7 和歌山
5. 佐藤 忠 (日代) 臼杵 1:40.7 東九州
6. 山岡 利夫 (妙寺) 和歌山 1:47.7 和歌山
7. 海谷 勇次 (八王子第二) 東京 1:47.8 東京
8. 田端 陽三 (田邊一) 和歌山 1:48.5 和歌山
9. 寺田千萬喜 (福田) 濱名 1:50.4 濱名
10. 川上 幸徳 (日代) 臼杵 1:51.0 東九州

平均 1:43.66

昨年度 1:38.2

昨年度第一位 星川 正義 (鷺津) 1:34.0

第十位 鈴木 博一 (下鴨) 1:42.6

200 米 リレー

1. 飯田金司郎・寺田勤・江間専一・加藤利男 (福田) 濱名 2:31.6 濱名

順位	氏名	校名	所属團體	時間	大會名
2.	石井勇郎・宮川要・山田爲次・白井龜雄	(元村)	東京	2:33.4	東京
3.	金子忠重・青木昭二・工藤宏司・薄葉勇	(品川原)	東京	2:34.2	東京
4.	渡邊登・齋藤國松・中川弘・石見與一	(金泉)	新潟	2:35.2	新潟
5.	開發日出夫・前田惠三・千間正一・小郷和四郎	(田邊一)	和歌山	2:35.5	和歌山
6.	杉浦定彦・山本治雄・池田久雄・池田哲也	(入出)	濱名	2:36.0	濱名
7.	房力・刑部政雄・藤田虎夫・菊地富士夫	(波浮)	東京	2:36.2	東京
8.	菅沼幸次・菅沼和人・木本久男・木本彰	(新所)	静岡	2:36.6	静岡

順位	氏名	校名	所属團體	時間	大會名
9.	平野清一・徳田邦雄・井上久喜・藤本岩男	(妙寺)	和歌山	2:36.7	和歌山
10.	岸健一・水間仁三郎・三浦孝沼・加藤元明	(八王子第二)	東京	2:37.0	東京

平均	2:35.24
昨年度	2:30.7
昨年度第一位	北本 正泰 杉本 三三 津守 英一 妙中 豊次
	(妙寺) 2:27.4
第十位	榎本 公一 松野 仲治 尾花 菊松 細田 忠直
	(九度山) 2:35.6

● ● ● ● ● 尋女之部 ● ● ● ● ●

50米自由形					
1.	古田 雪江	(品川原)	東京	37.8	東京
2.	朝倉 久子	(岩)	横濱	38.0	神奈川
2.	菊間みさ子	(宇佐美)	静岡	38.0	静岡
4.	高橋 利子	(品川原)	東京	34.2	東京
5.	川合 未子	(九度山)	和歌山	39.7	和歌山
6.	佐藤 貞子	(礪川)	東京	39.8	東京
7.	番匠 照代	(妙寺)	和歌山	40.0	和歌山
8.	粕谷 富子	(八王子第二)	東京	40.8	東京
8.	米澤テイ子	(橋本)	和歌山	40.8	和歌山
10.	松崎 菊江	(横濱)	横濱	41.0	神奈川

平均	39.51
昨年度	40.5
昨年度第一位	深見富久江(品川原) 38.8
第十位	坂本 博子(那智) 41.8

100米自由形					
1.	川合 未子	(九度山)	和歌山	1:29.3	和歌山
2.	松崎 菊江	(横濱)	横濱	1:31.4	神奈川
3.	簇野 富美	(八王子第三)	東京	1:32.2	東京
4.	米澤テイ子	(橋本)	和歌山	1:32.6	和歌山
5.	戸川 孜子	(礪川)	東京	1:33.4	東京
6.	石川 光子	(臨海)	東京	1:35.0	東京
7.	松岡 勝子	(妙寺)	和歌山	1:38.4	和歌山
8.	内藤喜代子	(長井)	横濱	1:40.8	神奈川
9.	青木 豊子	(眞鶴)	横濱	1:41.0	神奈川
10.	三枝喜美子	(指ヶ谷)	東京	1:41.2	東京

平均	1:35.53
昨年度	1:36.1
昨年度第一位	熊岡 光枝(八王子第一) 1:30.4
第十位	小野 笑子(入出) 1:44.6

100米平泳					
1.	和田 節美	(黒江)	和歌山	1:42.6	和歌山
2.	岡村千恵子	(妙寺)	和歌山	1:45.4	和歌山
3.	有川 愛子	(橋本)	和歌山	1:45.5	和歌山
4.	佐野 益子	(佃島)	東京	1:48.0	東京
5.	井上ヨシ子	(九度山)	和歌山	1:48.5	和歌山
6.	池尾壽々江	(横濱)	横濱	1:49.2	神奈川
7.	小林 静江	(東郷)	東京	1:51.2	東京
8.	渡邊つる子	(元町)	東京	1:51.2	東京
9.	田中 久代	(磨屋)	長崎	1:54.6	長崎
10.	尾澤 晴子	(八王子第三)	東京	1:55.4	東京

平均	1:49.16
昨年度	1:52.7
昨年度第一位	浦西 時子(九度山) 1:47.8
第十位	堀内 元子(妙寺) 1:57.5

200米平泳					
1.	岡村千恵子	(妙寺)	和歌山	3:42.3	和歌山
2.	和田 節美	(黒江)	和歌山	3:43.5	和歌山
3.	上田 久子	(妙寺)	和歌山	3:49.0	和歌山
4.	池尾壽々江	(横濱)	横濱	3:51.0	神奈川
5.	堀江 一子	(九度山)	和歌山	3:55.4	和歌山
6.	風間 照子	(富士見)	東京	3:55.6	東京

順位	氏名	校名	所属団体	時間	大会名
7.	齋藤 房枝	(佃 島)	東 京	4:00.8	東 京
8.	友田 節子	(佃 島)	東 京	4:02.2	東 京
9.	井上 ヨン子	(九度山)	和歌山	4:02.5	和歌山
10.	神前 恵子	(黒 江)	和歌山	4:06.2	和歌山

平 均 3:54.85

昨 年 度 4:03.7

昨年度第一位 田中實枝子(東 郷) 3:43.4

第十位 池田 薫(男附小) 4:21.1

50 米 背 泳

1.	田倉トメ子	(八王子第二)	東 京	51.4	東 京
2.	唐澤恵美子	(八王子第三)	東 京	52.2	東 京
3.	鈴木 正子	(横 濱)	横 濱	52.4	神奈川
4.	菊間みさこ	(宇佐美)	静 岡	52.8	静 岡
5.	川上 操	(品川原)	東 京	55.0	東 京
6.	小西加代子	(橋 本)	和歌山	55.2	和歌山
7.	山田美恵子	(礪 川)	東 京	57.8	東 京
8.	持永 滂子	(磨 屋)	長 崎	58.6	長 崎
9.	森浦タマユ	(九度山)	和歌山	59.2	和歌山
10.	大庭 炤子	(橋 本)	和歌山	59.3	和歌山

平 均 55.39

昨 年 度 50.7

昨年度第一位 片山佐智子(宇佐美) 45.2

第十位 飯田ハツ子(鷺 津) 56.0

100 米 背 泳

1.	鈴木 正子	(横 濱)	横 濱	1:57.4	神奈川
2.	立松 芳子	(麴 町)	東 京	1:59.0	東 京
3.	小西加代子	(橋 本)	和歌山	2:00.2	和歌山
4.	松木 芳子	(二 葉)	東 京	2:02.4	東 京
5.	藤掛ヒロ子	(八王子第二)	東 京	2:04.2	東 京
6.	大庭 炤子	(橋 本)	和歌山	2:04.6	和歌山
7.	池田 律子	(妙 寺)	和歌山	2:65.9	和歌山
8.	持家 滂子	(磨 屋)	長 崎	2:12.7	長 崎
9.	濱田タネ子	(仙 水)	白 杵	2:13.5	東九州

順位	氏名	校名	所属団体	時間	大会名
10.	美濃部喜代	(九度山)	和歌山	2:15.6	和歌山

平 均 2:05.55

昨 年 度 1:57.4

昨年度第一位 矢部 良(長 井) 1:47.6

第十位 正野タネエ(九度山) 2:12.0

200 米 リ レ ー

- 古田雪江・川上操・高橋利子・奥野薫子
(品川原) 東 京 2:43.2 東 京
- 唐澤美恵子・杉山和子・小林澄江・籾野富美子
(八王子第三) 東 京 2:49.4 東 京
- 市川輝子・粕谷富子・田倉トメ・諸星綾子
(八王子第二) 東 京 2:50.0 東 京
- 外川孜子・箱根睦子・三橋節子・佐藤貞子
(礪 川) 東 京 2:51.2 東 京
- 米澤テイ子・平井泰子・百田里子・山本ヒデ子
(橋 本) 和歌山 2:59.5 和歌山
- 川合末子・椿原ツヤ子・池宮テル子・中谷伊久子
(九度山) 和歌山 3:00.2 和歌山
- 松岡勝子・番匠照代・林トラエ・曾和タケエ
(妙 寺) 和歌山 3:01.7 和歌山
- 石川のり子・中野綾子・石井みさ子・小山好子
(伊 東) 静 岡 3:01.8 静 岡
- 田中茂子・岡本正子・鈴木正子・池尾壽々江
(横 濱) 横 濱 3:02.6 神奈川
- 内藤美代子・龍崎アイ・鈴木シマ・安藤チエ
(長 井) 横 濱 3:04.8 神奈川

平 均 2:56.44

昨 年 度 2:58.3

昨年度第一位 片山佐智子
稲本 ユワ } (宇佐美) 2:44.2
菊間ミサ子 }
田原 トミ }

第十位 岩國 芳子 } (乾 隆) 3:12.4
東 キミ子 }
西山ミヨ子 }
野崎眞佐子 }

高 男 之 部

100 米 自 由 形

1.	後藤晴雄	(兩 津)	新 潟	1:09.4	新 潟
2.	細田 清	(月島第三)	東 京	1:12.4	東 京
3.	北 政春	(横 濱)	廣 島	1:12.8	廣 島
4.	加藤 孝	(福 田)	静 岡	1:13.8	静 岡

- 杉浦安一郎(入 出) 静 岡 1:14.0 静 岡
- 藤本 忠義(野 崎) 和歌山 1:14.0 和歌山
- 小林 政(金 泉) 新 潟 1:14.4 新 潟
- 開 發 開(田邊二) 和歌山 1:15.0 和歌山
- 池田 四郎(入 出) 横 名 1:15.8 横 名
- 島田 順一(妙 寺) 和歌山 1:16.0 和歌山

順位 氏名 校名 所属團體 時間 大會名

平均 1:137.6

昨年度 1:11.0

昨年度第一位 金子榮一郎 (入出) 1:08.6

第十位 鈴木 鈴松 (入出) 1:13.8

200米自由形

- 川口 義和 (靜浦) 靜岡 2:40.6 靜岡
- 後藤 晴雄 (兩津) 新潟 2:41.6 新潟
- 北本 正恭 (妙寺) 和歌山 2:45.0 和歌山
- 杉浦安一郎 (入出) 靜岡 2:45.2 靜岡
- 青木 富夫 (宇佐美) 靜岡 2:45.2 靜岡
- 柴田 房吉 (村櫛) 濱名 2:47.6 濱名
- 山本 茂人 (入出) 濱名 2:48.0 濱名
- 門田 正矩 (七浦) 新潟 2:48.3 新潟
- 久保田 東 (日代) 白杵 2:49.1 東九州
- 北 政春 (横濱) 廣島 2:49.6 廣島

平均 2:46.02

昨年度 2:41.7

昨年度第一位 金子榮一郎 (入出) 2:32.8

第十位 菅沼 陽一 (新所) 2:46.4

400米自由形

- 川口 義和 (靜浦) 靜岡 5:44.4 靜岡
- 山本 一夫 (入出) 濱名 5:49.4 濱名
- 岡 輝夫 (九度山) 和歌山 5:54.2 和歌山
- 北本 正恭 (妙寺) 和歌山 5:55.0 和歌山
- 久保田 東 (日代) 白杵 5:57.7 東九州
- 青木 富夫 (宇佐美) 靜岡 6:05.0 靜岡
- 山本 武司 (入出) 濱名 6:06.0 濱名
- 高山 善夫 (村櫛) 濱名 6:13.0 濱名
- 尾花 菊松 (九度山) 和歌山 6:16.5 和歌山
- 山本 幸夫 (雄踏) 濱名 6:20.4 濱名

平均 6:02.16

昨年度 6:00.1

昨年度第一位 多々良喜代美 (村櫛) 5:38.0

第十位 秋本 惣一郎 (長井) 6:20.8

400米リレー

- 池田四郎・山本義人・山本一夫・山本武司
(入出) 濱名 5:03.0 濱名
- 柴田房吉・高山善夫・竹本節夫・柴策三
(村櫛) 濱名 5:10.0 濱名
- 細田至直・栗川清・條田武彦・岡輝夫
(九度山) 和歌山 5:16.3 和歌山

順位 氏名 校名 所属團體 時間 大會名

4. 津守榮一・大西秀雄・北本正恭・島田順一

(妙寺) 和歌山 5:17.9 和歌山

5. 佐藤好男・齋藤友弘・石田守・細田清

(月島第三) 東京 5:18.8 東京

6. 吉田春雄・豊田好明・松山由雄・山本幸夫

(雄踏) 濱名 5:19.6 濱名

7. 保田重一・保田高男・平井正保・藤本忠義

(野崎) 和歌山 5:20.0 和歌山

8. 小泉眞澄・赤羽鶴吉・長田泰藏・山口要

(八王子) 東京 5:23.4 東京

9. 小平千里・鯉淵三千郎・小峯喜一・石田惣二

(本郷) 東京 5:23.8 東京

10. 多田源作・高橋寛至・小泉甲子雄・鈴木忠夫

(真鶴) 横濱 5:28.2 神奈川

平均 5:18.1

昨年度 5:12.4

昨年度第一位

藤井 敬次郎
中村 倫市
高山 正良
多々良喜代美
(村櫛) 4:57.4

第十位

江口 榮治
菅野 善一郎
山崎 敏夫
竹内 榮治
(王子) 5:26.0

100米平泳

- 鈴木 重一 (北方) 横濱 1:24.6 神奈川
- 山本 豊 (入出) 濱名 1:27.6 濱名
- 山本 茂人 (入出) 濱名 1:30.0 濱名
- 宮下 米造 (附小) 和歌山 1:30.8 和歌山
- 市川 富藏 (熱田) 名古屋 1:31.0 名古屋
- 小長井卓二 (大里西) 靜岡 1:31.4 靜岡
- 山形 正 (湯川) 北海道 1:32.5 全函館
- 宮脇 俊 (九度山) 和歌山 1:32.5 和歌山
- 石塚 幸雄 (村櫛) 濱名 1:32.6 濱名
- 三浦 光行 (京橋) 東京 1:33.6 東京

平均 1:30.66

昨年度 1:29.4

昨年度第一位 小幡 令二 (鷺津) 1:27.4

第十位 中東 定勝 (横濱) 1:33.2

200米平泳

- 鈴木 重一 (北方) 横濱 3:04.4 神奈川
- 宮下 米造 (附小) 和歌山 3:14.2 和歌山
- 宮脇 俊 (九度山) 和歌山 3:17.2 和歌山
- 岡本 益信 (横濱) 廣島 3:18.6 廣島

順位	氏名	校名	所属団体	時間	大会名
5.	増田萬壽雄	(日代)	白木	3:23.3	東九州
6.	内藤義治	(第二日野)	東京	3:25.6	東京
7.	吉田英男	(附小)	和歌山	3:26.9	和歌山
8.	本地彪	(横濱)	廣島	3:27.6	廣島
9.	安部貞雄	(妙寺)	和歌山	3:31.8	和歌山
10.	高橋勝次郎	(八王子)	東京	3:32.6	東京

平均 3:22.22

昨年度 3:20.5

昨年度第一位 新村行彦(村櫛) 3:12.4

第十位 野間一郎(小碓) 3:27.3

50米背泳

1.	谷口武雄	(横濱)	廣島	38.0	廣島
2.	川端克明	(七浦)	新潟	38.6	新潟
3.	窪田強	(相川)	新潟	39.7	廣島
4.	土肥耕三	(横濱)	廣島	40.8	廣島
5.	古矢寛	(本所)	東京	41.2	東京
6.	下仲谷豊次	(妙寺)	和歌山	41.4	和歌山
7.	中島唯願	(高槻)	兵庫	41.8	關西
7.	清水勝義	(日代)	白杵	41.8	東九州
9.	竹本國盛	(横濱)	廣島	42.2	廣島

順位	氏名	校名	所属団体	時間	大会名
10.	市川春夫	(東田中)	兵庫	42.5	關西

平均 40.8

昨年度 40.1

昨年度第一位 葛原義照(學文路第一) 37.7

第十位 萱野輝男(學文路第一) 42.2

100米背泳

1.	島田董吾	(伊東)	静岡	1:22.4	静岡
2.	加藤孝	(福田)	静岡	1:26.4	静岡
3.	谷口武雄	(横濱)	廣島	1:27.0	廣島
4.	柴田房吉	(村櫛)	濱名	1:28.8	濱名
5.	太田勇	(伊東)	静岡	1:29.4	静岡
6.	下仲谷豊次	(寺妙)	和歌山	1:31.8	和歌山
7.	清水勝義	(日代)	白杵	1:33.2	東九州
8.	綿田恒	(寺妙)	和歌山	1:34.0	和歌山
9.	山本廣司	(入出)	濱名	1:34.2	濱名
10.	土肥耕三	(二高)	廣島	1:34.6	廣島

平均 1:30.18

昨年度 1:27.0

昨年度第一位 藤井敬次郎(村櫛) 1:19.1

第十位 山岡政春(網代) 1:30.8

● ● ● 高女之部 ● ● ●

50米自由形

1.	高橋美代	(伊東)	静岡	35.2	静岡
2.	田京とみ	(宇佐美)	静岡	38.6	静岡
3.	田中エイ	(八王子)	東京	38.8	東京
4.	小川照江	(濱川)	東京	39.0	東京
5.	山田美幸	(入出)	静岡	39.2	静岡
6.	前田美代子	(妙寺)	和歌山	39.5	和歌山
6.	坂本ミネ子	(橋本)	和歌山	39.5	和歌山
8.	辻本閑子	(妙寺)	和歌山	40.1	和歌山
9.	辻本シズ	(妙寺)	和歌山	40.5	和歌山
9.	庄野タネエ	(九度山)	和歌山	40.5	和歌山

平均 39.09

昨年度 39.0

昨年度第一位 高橋美代(伊東) 35.0

第十位 池宮タカ子(九度山) 41.0

100米自由形

1.	高橋美代	(伊東)	静岡	1:16.6	静岡
2.	朝倉久子	(岩)	横濱	1:25.6	神奈川

3.	山田美幸	(入出)	濱名	1:27.8	濱名
4.	前田美代子	(妙寺)	和歌山	1:28.0	和歌山
5.	三浦ツネ子	(九度山)	和歌山	1:29.0	和歌山
6.	青木里子	(岩)	横濱	1:30.0	神奈川
6.	山本フミ子	(九度山)	和歌山	1:30.0	和歌山
8.	竹本まさ子	(宇佐美)	静岡	1:33.2	静岡
9.	嘉山キヨ	(長井)	横濱	1:33.6	神奈川
10.	坂本ミネ子	(橋本)	和歌山	1:34.6	和歌山

平均 1:28.84

昨年度 1:29.2

昨年度第一位 高橋美代(伊東) 1:20.0

第十位 遠藤ヨツ(須坂) 1:35.6

200米自由形

1.	三浦ツネエ	(九度山)	和歌山	3:12.0	和歌山
2.	辻本閑子	(妙寺)	和歌山	3:20.0	和歌山
3.	山本フミ子	(九度山)	和歌山	3:22.8	和歌山
4.	青木里子	(岩)	横濱	3:25.2	神奈川
5.	原田八重子	(長井)	横濱	3:33.2	和奈川
6.	水口貞子	(橋本)	和歌山	3:33.3	和歌山

順位	氏名	校名	所属團體	時間	大會名
7.	青木萬知子 (眞鶴)	横濱	濱	3:35.4	神奈川
8.	森久保アヤ子(八王子)	東京		3:40.0	東京
9.	平林 咲枝 (濱川)	東京		3:47.2	東京
10.	玉置 房子 (妙寺)	和歌山		3:48.3	和歌山

平均 3:31.74

昨年度 3:31.5

昨年度第一位 前田美代子(妙寺) 3:09.6

第十位 ナシ

100米 平 泳

1.	小林 フミ (長井)	横濱		1:40.4	神奈川
2.	三浦 好 (九度山)	和歌山		1:45.9	和歌山
3.	羅 スミ子 (妙寺)	和歌山		1:46.2	和歌山
4.	溝端 淑子 (妙寺)	和歌山		1:47.0	和歌山
5.	加藤 好子 (和歌山)	和歌山		1:50.4	和歌山
6.	神田 清子 (麴町)	東京		1:51.8	東京
7.	竹内千代子 (麴町)	東京		1:52.0	東京
8.	鈴木 うた (入出)	濱名		1:52.2	濱名
9.	奥田 松子 (二高)	廣島		1:53.4	廣島
10.	秋山富美子 (濱川)	東京		1:54.6	東京

平均 1:49.39

昨年度 1:48.7

昨年度第一位 北澤 林子(鷺津) 1:39.8

第十位 中野 妙子(九度山) 1:55.0

200米 平 泳

1.	羅 スミ子 (妙寺)	和歌山		3:48.3	和歌山
2.	加藤 妙子 (九度山)	和歌山		3:48.9	和歌山
3.	溝端 淑子 (妙寺)	和歌山		3:50.7	和歌山
4.	小杉 フミ (長井)	横濱		3:55.0	神奈川
5.	田中まつゑ (月島第三)	東京		4:08.8	東京
6.	兼清 婉子 (眞鶴)	横濱		4:11.8	神奈川
7.	山南 忠子 (仙水)	大分		4:13.5	東九州
8.	村上千枝子 (八王子)	東京		4:21.0	東京
9.	三橋 芳子 (濱川)	東京		4:27.0	東京
10.	鈴木ツルエ (長井)	横濱		4:30.4	神奈川

平均 4:07.54

昨年度 3:51.0

昨年度第一位 谷本 千代(妙寺) 3:46.5

第十位 大村 操子(八王子) 4:17.8

50米 背 泳

1.	大瀧キミ枝 (麴町)	麴町		44.8	關東
2.	田中 豊子 (九度山)	和歌山		46.7	和歌山
3.	稲本 いわ (宇佐美)	静岡		47.2	静岡
4.	渡邊 貞子 (二高)	廣島		47.4	廣島
5.	福島 敏榮 (濱川)	東京		48.4	東京
6.	池宮タカ子 (九度山)	和歌山		49.3	和歌山
7.	濱田 タヅ (長井)	横濱		49.8	神奈川
7.	矢部 良 (長井)	横濱		49.8	神奈川
9.	北島 時子 (愛宕)	東京		50.4	東京

順位	氏名	校名	所属團體	時間	大會名
10.	町田 りん (静浦)	静岡		51.0	静岡

平均 48.48

昨年度 49.5

昨年度第一位 大前フジ子(寺妙) 42.8

第十位 福島敏榮(濱川) 55.8

100米 背 泳

1.	大瀧キミ枝 (麴町)	東京		1:40.2	東京
2.	新妻イク子 (八王子)	東京		1:44.8	東京
3.	濱田 タヅ (長井)	横濱		1:46.0	神奈川
4.	内田 愛子 (日進)	東京		1:47.8	東京
5.	田中 豊子 (九度山)	和歌山		1:48.8	和歌山
6.	矢部 良 (長井)	横濱		1:49.0	神奈川
7.	池宮タカ子 (九度山)	和歌山		1:51.0	和歌山
8.	山本 直子 (岩)	横濱		1:58.2	神奈川
9.	谷口オヒデ (妙寺)	和歌山		1:59.0	和歌山
10.	高木 稚子 (仙水)	白杵		2:02.4	東九州

平均 1:50.72

昨年度 1:53.5

昨年度第一位 大前フジ子(妙寺) 1:36.9

第十位 川島 ヨシ(愛宕) 2:12.0

200米 リレー

1.	稲木いわ・田京とみ・内田久江・竹本まさ (宇佐美) 静岡			2:43.8	静岡
2.	山本フミ子・三浦ツネエ・海堀京・池宮高子 (九度山) 和歌山			2:46.8	和歌山
3.	小川照江・菊地タマ子・平林咲枝・福島敏榮 (濱川) 東京			2:47.8	東京
4.	田中エイ・森保綾子・本間愛子・新妻イク子 (八王子) 東京			2:48.0	東京
5.	青木里子・藤登美枝・青木登美江・朝倉久子 (岩) 横濱			2:49.0	神奈川
6.	前田美代子・江口オヒデ・玉置房子・辻本閑子 (妙寺) 和歌山			2:49.2	和歌山
7.	渡邊貞子・住居フミ子・川村幸子・浦部朝江 (二高) 廣島			2:50.4	廣島
8.	龍崎ツメ・浦島キミ・嘉山キヨ・原田八重子 (長井) 横濱			2:51.0	神奈川
9.	大瀧キミ代・新海美子・竹内千代子・竹田靖子 (麴町) 東京			2:51.4	東京
10.	水口貞子・坂本ミネ子・道根美佐枝・福井清枝 (橋本) 和歌山			2:56.8	和歌山

平均 2:49.42

昨年度 2:48.7

昨年度第一位 岩本シゲ子 }
大前フジ子 } (妙寺) 2:38.4
前田美代子 }
森本ヨシ子 }

第十位 赤塚 静子 }
箭内 竹子 } (豊島第一) 3:02.4
鎗田八重子 }
毛利委代子 }

日本選手権飛込競技



昭和十三年度日本選手権飛込競技は、競泳、水球と共に、八月十九、二十、二十一の三日間に亘つて、大阪甲子園水

泳場で行はれた。

數年振りで行はれた關西での選手権大會であるだけに、戦前より種々の期待が掛けられて居た。

其の期待の第一は關西中等學校選手の進出如何である。過るアムステルダム大會、ロスアンジェルス大會當時の日本飛込界は、大阪茨木中學が、優秀な飛込選手を擁して、關東の大學選手に對抗し、その勢力が東西に分れて居たのであるが、最近數年間には、何時の間にか、關東に片寄り、日本飛込界の上位が殆んど、關東大學選手によつて占められる結果となつて居た。従つて、飛込界で謂ふ、所謂「關西式」の非常に整然とした飛込が、殆んど見られず、稍關東式に片寄りすぎる傾向にあつた。其れが、たまたま、今年大阪で選手権大會が催される事となり、豫想通り關西中等學校選手の多數出場を見、然も規定飛豫選を通過して最後に残つた七人中、三人を數へたのは、女子飛込選手の、量的、質的向上と共に本年度大會の最大の收穫であらう。

期待の第二は、女子飛込の進出振り如何である。羅府大會後の昭和九年頃、日本の女子飛込競技は、一時全く不振を極め、退歩しつつあると迄、一部識者を嘆かせたが、近來非常に盛り返し、伯林大會には男子以上の成果を収め、その後も、次第に向上の途を辿りつつあつた。それが今年度は、シーズン始めより、更に量的に大いに増しつつあつたので、第一線の成績と共に、第二陣の進出如何が非常に期待されて居た。競技の結果は本年度も矢張り、大澤姉妹が優勝したが、飛板、高飛込共に、十人程の出場となり、高飛込の如く接戦の結果、前年度の覇者大澤(政)が、五位に落ちる等、今後の女子飛込界の充實が眞に楽しみに思はれる。

期待の第三は、飛込の技術的方面で、基礎技術の

日本水上競技聯盟

原 秀 夫

進歩如何であつた。從來日本の飛込は先進國の飛込に追ひ付く爲に、出来るだけ難易率の高いものを探り、然も、選擇飛の配列順序等を變へて、審判員の心理的弱點をつき、個々の整數點(?)では大して、良い得點を得なくても、難易率を乗じた結果は案外多量の得點を得、相當な總得點を収めると云ふ、傾向が多分にあつた。従つて飛込全體を通じて、非常に無理な感じが多く、明るい、安定感と云ふものが殆んどなかつた。之が飛込の本道ではなく、より積極的な、然も整美した、眞の美しい飛込が要望され、伯林オリムピック以來、之の點を強調する爲の一つの方法として、二年間、極めて平易な規定飛が制定された。

勿論各選手共、前述の點を次第に了解して、努力の跡が少からず見えては居たが、主として關東の大學選手の中、未だ從來の癖の抜け切れないものが相當あつた。

其して、寧ろ、此の安易な規定飛制定の副産物として我々の秘かに期待した、男女出場選手數の増加が、極めて靨面に表はれて、遙かに右の主たる目的を、凌駕する様な事となつてしまつた。

競技場の施設、競技の運行等に就いては、甲子園プールが極めて最近完成されたものであるだけ、プールの淵の改良によつて、プールの何處の箇處でも非常に上り良くなつた事、飛込臺の方向等、申分無かつた様であるが、競泳プールと反對側のスタンドとの距離が極端に狭く、審判員の配列に不便を感じた事、練習用三米スプリング・ボードの不足等が、今後の問題として残され、出場數の過多の爲め、不得止、選手権規約によつて、規定飛で最優七名を選出、決勝を行つた。男子飛板飛込競技の結果から、その豫選方法の改良問題が起き、矢張り飛込競技は競泳競技と、日を別にして、充分な競技時間の下に行はれるべきであるを、強く感ぜしめた。

扱つて競技の結果は表の通りであるが、男子飛板飛込は、大體三つの、グループによつて、

男子高飛込

氏名 所屬	規定飛				選擇飛				氏名 所屬	順位
	1	2	3	4	1	2	3	4		
柴原 (日大)	9.12	23.94	35.05	46.75	60.58	76.05	91.95	108.74	柴原 (N)	1
小柳 (早大)	8.64	21.37	33.29	44.54	59.33	73.78	87.49	103.77	小柳 (W)	2
瓶子 (早大) 奥田 (明大)	8.40	20.94	32.68	44.08	58.22	73.42	83.82	95.26	瓶子 (W)	3
細谷 (日大)	8.04	19.61	25.80	35.25	48.70	59.42	68.92	75.26	細谷 (N)	4
矢野 (慶大)	7.56	17.82	25.50	33.99	45.17	53.82	64.82	75.04	矢野 (K)	5
		17.54	25.14	33.30	43.11	53.15	60.63	68.11	奥田 (M)	6

争はれて居た。小柳の異常な進歩によつて、全く柴原に追ひ付き、久し振りで猛烈な優勝争ひが、演ぜられた。然も、小柳は最初から極めて好調で、規定飛を終り、次の選擇飛第一迄、僅かではあるが、リードを保つたが、後宙返り一回半に失敗して、遂に敗れた。之に反して、規定飛に稍不調だつた柴原は、得意の選擇飛に入るや、其のスケールの大きさを充分發揮して優勝した。

全般的に見て、兩者の技倆には殆んど、甲乙なかつたと云へ様、各々稍反對とも思はれる特徴を持ち、結局一種目に大きな失敗をした小柳が敗れたわけである。然し、優勝した柴原の飛込には、昨年と比べて大して進況が認められなかつた。全般的に平均して巧くなつては居るが、踏切、腰から下の整美には未だ缺點が残つて居る。此の點の完成を見なければ世界で一流のダイヴァーには成れぬ。その間には平易種目の猛練習によつて、一日も早く、是正される事を望む。小柳は確に、格段の進歩を見せた。

然し、未だ滑らかさに缺けて居る。見ていると、何か“ゴツゴツ”した感じがする。恐らくは、頭で考へる時間が長くて、練習数が少い故と思はれる。神経のみに頼らず、練習数を激増して、完成して欲しい。此の二者から一段離れて猛烈な二位争ひをした、久保、高濱の二者にも殆んど、甲乙はない。關東大學選手の不振によつて三、四位の榮位に上つ

たが、未だ缺點も多々ある。前途有爲の二君には、今後を期待して細評を避ける。

此の外、七位にはなつたが日大、森君の飛込は、その猛烈なスプリントが、往年の原西三君を思はせて、將來の大を期待させるものがある。

唯、得點増加を、アセリ過ぎて、無理な困難な種目のみを選び過ぎると思ふ。一考を期待する。

女子飛板飛込は、前半は極めて接戦だつたが、後半は比較的平穩に、大澤姉妹の、制覇となつた。此の二人には、種目的向上が絶対に望まれる。後宙返り一回半、逆宙返り一回(仲切)等、未だやつて見るべき種目は多々ある。此の二人を除いては、田中立松の奮闘が、注目された。兩者共、競技歴の若い割には落着いて競技して居た様であるが、未だ失敗が多過ぎる。其他若い選手の中に混つて、島崎夫人の出場が、別な意味で、誠に嬉ばしかつた。殊に、前逆飛(仲切)等、この競技中の最高點、一五・〇一を出して、なかなか見事であつたが、矢張り練習不足は争はれず、結果は六位となつた。然しながら、家を持つ、夫人の元氣な競技振

男子飛板飛込

氏名 所屬	規定飛					選擇飛					氏名 所屬
	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5	
小柳 (早大)	9.96	22.76	38.34	48.06	60.47	76.52	91.81	111.13	126.75	144.92	柴原 (N)
柴原 (日大)	9.36	22.48	37.11	46.59	60.02	75.64	86.19	103.67	121.27	138.52	小柳 (W)
森 (日大)	9.12	20.12	32.33	39.89	51.45	64.68	75.74	86.64	99.34	110.78	久保 (第三神)
高濱 (第三神)	8.76	19.84	31.14	38.10	50.00	61.34	74.68	85.70	97.84	110.26	高濱 (第三神)
井上 (福井高)	8.52	19.24	29.46	37.86	48.40	60.02	69.14	79.14	90.54	101.34	井上 (福井高)
北田 (慶大)	8.04	18.84	29.34	37.02	47.24	59.74	65.62	75.74	85.74	96.36	北田 (K)
久保 (第三神)	7.80	18.44	28.36	35.68	46.88	49.90	58.26	72.12	84.12	94.54	森 (N)

りは、女子競技の今後の爲に、新しき方向を示したものと注目される。

男子高飛込

此の種目でも、柴原、小柳は、猛烈に競合ひ、結局經驗に一日の長ある柴原の優勝となつた。柴原は規定飛に極めて不調で、一時三位の瓶子にも、リー

ドされたが、前逆宙返り一回半に、最高點一八・一八

女子高飛込

氏名 所屬	規定飛				氏名 所屬	順位
	1	2	3	4		
横山 (關西俱)	7.92	16.40	25.78	33.46	大澤禮 (美津濃)	1
林(無) 立松(栢山)	7.48	15.65	24.64	32.32	田中 (若葉)	2
小島 (第六)	7.37	15.16	24.24	32.71	横山 (關西俱)	3
大澤政(三) 大澤禮(英) 田中(若)	7.04	15.12	22.96	31.81	立松 (栢山)	4
島崎 (無)	6.93	14.85	22.93	30.62	大澤政 (三省堂)	5
内海 (第六)	5.72	14.84	22.58	30.30	林 (無)	6
		14.72	22.24	28.91	小島 (第六)	7
		13.00	20.45	27.73	島崎 (無)	8
		11.96	17.28	24.30	内海 (第六)	9

を出して優勝した。相變らず、高さ幅共に、申分ない大きな飛込ではあるが、細い點の整備が、足りな

いので、結局餘り良い點が、出なかつた様あるで。

小柳の高飛込は、何と云つても、未完成である。飛板の経験と、特有の神経で、辛じて落し込むと云ふ感じであるが、然しその反面、未完成なるが故にその完成の暁が期待される、絶大である。完成の時には恐らく、一二〇點を超えるのも、至難ではあるまい。

三位の瓶子も、なかなか見事な飛込を見せた。殊に、走り前逆飛(伸切)等、後進の模範とすべきものであつた。下位の三者中には、僅かに新進矢野が、時々、非常な良さを見せはしたが、失敗も甚しく、高飛込第二陣の寂莫を嘆かすのみであつた。

女子高飛込

優勝した大澤(禮)は、終始、段然強く、新進田中の進出によつて、最後の差は僅少であつたが、覇者の貫禄充分であつた。大澤(政)、田中、横山、立松の二、三位争ひは、猛烈で、結局、田中の奮闘と、大澤(政)の失敗で、表の如き順となつたが、優劣は殆んど、無かつた。そして何よりも嬉ばしかつたのは、九人揃つての出場で、日本女子飛込、此處にありの感甚だ強く、將來の隆盛が樂まれる。猶選手権成績は表の如し。

女子飛板飛込

氏名 所屬	規定飛					選擇飛			氏名 所屬	順位
	1	2	3	4	5	1	2	3		
横山 (關西俱)	8.52	20.00	34.44	42.60	51.95	65.09	75.35	88.95	大澤政 (三省堂)	1
大澤政 (三省堂)	8.16	18.76	31.25	39.75	51.14	64.28	75.00	86.78	大澤禮 (美津濃)	2
田中 (若葉)	8.04	17.12		39.65	50.08	61.13	70.49	77.85	横山 (關西俱)	3
島崎 (無)	7.92		30.99	38.81	48.84	54.48	64.38	76.16	立松 (栢山)	4
立松 (栢山)	7.56	17.00	28.93	36.04	45.22	54.22	63.84	74.86	田中 (若葉)	5
光常 (常盤松)	7.44	16.32	27.88	33.24	44.40	53.18	63.34	69.92	島崎 (無)	6
岸 (關西俱)	7.20	16.24	27.00	33.01	43.10	52.68	60.40	67.60	岸 (關西俱)	7
大澤禮 (美津濃)	6.12	16.20	24.24	32.86	38.98	47.26	56.98	62.84	内海 (第六)	8
小島 (第六)	6.24	15.44	23.92	30.16	37.98	45.96	54.92	61.78	光常 (常盤松)	9
内海 (第六)	5.28	14.88	23.24	27.32	36.16	45.16	52.80	59.64	小島 (第六)	10

昭和十三年度飛込競技成績表

男子の部

早慶對抗

6月5日
神宮

飛板飛込

1.	小柳富男	早大	139.38
2.	瓶子喜巳	早大	115.17
3.	北田舜次	慶大	109.56
4.	加茂正美	早大	107.88
5.	杉原雪夫	慶大	106.22
6.	矢野幸松	慶大	84.06

高飛込

1.	小柳富男	早大	104.72
2.	瓶子喜巳	早大	81.92
3.	矢野幸松	慶大	76.47
4.	北田舜次	慶大	75.59
5.	加茂正美	早大	57.07

全國高等專門學校大會

7月23-24日
明治神宮外苑水泳場

飛板飛込(3米)

1.	瓶子喜巳	早專	123.33
2.	森英之	日專	111.76
3.	加茂正美	早高	111.47
4.	細谷幸四郎	日專	98.62
5.	藤本憲一	慶豫	86.49
6.	佐藤修正	慶豫	84.76
7.	永原隆	早專	83.42
8.	毛利市郎	早高	82.88
9.	野中純男	日專	82.04
10.	岩佐道雄	慶豫	77.52

高飛込

1.	瓶子喜巳	早專	99.94
2.	加茂正美	早高	62.77

關東豫選

8月10日
神宮

飛板飛込

1.	柴原恒雄	日大	134.54
----	------	----	--------

2.	毛利元英	日大	113.22
3.	北田舜次	慶大	108.85
4.	杉原雪夫	慶大	101.33

高飛込

1.	柴原恒雄	日大	105.96
2.	菅谷幸四郎	日大	75.61
3.	矢野幸松	慶大	74.50

日本選手権

8月19-20-21日
甲子園

飛板飛込

1.	柴原恒雄	日大	144.92
2.	小柳富男	稻泳會	133.52
3.	久保欣雄	第三神港	110.78
4.	高濱武	第三神港	110.26
5.	井上一男	福井商工	101.34
6.	北田舜次	慶大	96.36
7.	森英之	日大	94.54

高飛込

1.	柴原恒雄	日大	108.74
2.	小柳富男	稻泳會	103.77
3.	瓶子喜巳	稻泳會	95.26
4.	細谷幸四郎	日大	75.26
5.	矢野幸松	慶大	75.04
6.	奥田政勝	明大	68.11

日本學生大會

9月17-18日
神宮

飛板飛込

1.	小柳富男	早大	146.86
2.	柴原恒雄	日大	137.56
3.	北田舜次	日大	112.06
4.	毛利元英	日大	108.68
5.	加茂正美	早大	103.24
6.	森英之	日大	98.97
7.	岩佐道雄	日大	98.86
8.	塊原一夫	關學	94.04
9.	永原隆	早大	89.70
10.	橋本憲一	慶大	85.46
11.	山本英彦	明大	81.98
12.	高田襄	明大	71.20

13. 磯島考明大 65.98
 14. 山田一男明大 60.38

高飛込

1. 小柳富男早大 112.91
 2. 柴原恒雄日大 109.98
 3. 矢野幸松慶大 82.41
 4. 細谷幸四郎日大 81.68
 5. 北田舜次慶大 74.46
 6. 奥島經一郎慶大 65.74
 7. 奥田政勝明大 65.34
 8. 山田一男明大 61.72

女子の部

関東豫選

8月10日
 明治神宮外苑水泳場

高飛込

1. 大澤マサ代三省堂 34.32
 2. 島崎恵美子無 30.16
 3. 田中キヨ若葉クラブ 29.76
 4. 光永和子常盤松女 28.48
 5. 林悦子無 28.39

飛板飛込

1. 大澤マサ代三省堂 92.11
 2. 島崎恵美子無 88.36

3. 田中キヨ若葉クラブ 77.81
 4. 光永和子常盤松女 68.00

日本選手権

8月19・20・21日
 甲子園

高飛込

1. 大澤禮子美津濃 33.46
 2. 田中キヨ若葉クラブ 32.82
 3. 横山周子關西クラブ 32.71
 4. 立松文子梶山女 31.81
 5. 大澤マサ代三省堂 30.62
 6. 林悦子無 30.30
 7. 小島房枝府立高女 28.91
 8. 島崎美枝子無 27.73
 9. 内海通多子府立六女 24.30

飛板飛込

1. 大澤マサ代三省堂 88.95
 2. 大澤禮子美津濃 86.78
 3. 横山周子關西クラブ 77.85
 4. 立松文子梶山女 76.16
 5. 田中キヨ若葉クラブ 74.86
 6. 島崎美枝子無 69.92
 7. 岸正枝關西クラブ 67.60
 8. 内海通多子府立六女 62.84
 9. 光永和子常盤松女 61.78
 10. 小島房枝府立六女 59.64

中等學校種目(男女)適用セズ
 地方豫選記録ナシ

プール公認

公認番号	名稱	長さ	場所	公認日附
86	伊勢崎水泳場	25	群馬縣佐波郡伊勢崎町	7.27
87	臼杵中學校競泳池	50	大分縣北海部郡臼杵町	8.31
88	藤枝高女水泳場	25	静岡縣志太郡藤枝町	11.12
89	岐阜商業學校競泳池	25	岐阜市長良字海田畑	11.22
26(再公認)	名古屋振甫(プール)游泳場	50	名古屋市東區千種町	7.19
17(再公認)	沼津中學プール	25	沼津市上香貫	12.10



「平泳のコツ」

日本大學水泳部

葉室鐵夫

「平泳のコツ」と云ふ様な題で、との御話があり、さて書く段になつて見ると單に平泳の手、足だけに付いて論ずるとしても、兩方共連絡のあるものでもありますから、結局同時に論じなければならなくなると思ひます。

先づ、私の平泳に付いて、其のフォームの變遷とでも云ひませうか、泳ぎ始めてから、今日に至る迄の泳ぎを考へてみますと、他の人の泳ぎを見て、自然に自分の平泳ぎを作つたのが、中學一年、二年の五月頃迄でした。そしてその泳ぎは現在迄の一番大きな基礎となつてゐます。割合に良い泳ぎの人ばかりを見た爲もあるし、直接コーチを受けた人の泳ぎも實に立派なものであつた爲非常にめぐまれたと思ひます。

其の後三年、四年生頃はフォームの完成に向つてコーチによつて研究、努力につとめました。

此の時代の特徴は、足が非常によく利く、即ち手の力は餘り用ひないで、足の力のみで頼つた、女性的とも云はふか、非常に柔い感じのする泳ぎでした。此の女性的な平泳法は、今の私の泳ぎにも幾分適用される言葉であつて、非常に足の關節をやはらかに然かも巧妙に使ふので、百米に於いてはそれ程好果的でもないが二百米以上になると、斷然其の強みを發揮するかの様です。

日本大學に入學して以來、小池君と云ふ大きな目標を得て、新しい競技生活に入つたわけですが、自分のフォームに付いては、其の年の冬、市立一中に於いて練習してゐる時に非常に大きな発見をしました。其の時に自分で體得した泳ぎこそ私の泳ぎとして、最上のものであると信じ、現在でも其の時の泳ぎに出来るだけ近づく様に努力してゐるのです。

それだけに、之を文字を以つて表現すると云ふことは、非常に困難なことであると思ひますが、此の點を理解してもらふ爲に、ベストを盡して説明して

見ます。

只、之を讀んで自分の平泳の研究の参考にしやうと思つてゐる人に云ひたいことは、私の之迄の泳ぎは他の人の泳ぎを見て覚え、更にコーチや競争相手の泳ぎを見て、自分の泳ぎの完成の参考として作り上げたものですが、他の人の泳ぎを真似ると云ふことはしなかつた、ですから此の説明を讀んで若し、感心される様な所があつても、直ぐ真似すると云ふ事なく、自分で泳いで居る内に、「之だ」と思ふ所をつかんで、自分の泳ぎを作つて欲しいと思ひます。

先づ足は出来るだけ強く、巧により多くの水を後方に蹴ることを、第一に心掛けねばならないのですが、其の爲には足の各關節は出来るだけやはらかにして、蹴り方は蛙の足の蹴り方ではなくて、引きつけてから膝の關節、踝の關節から外側へ曲げる様にして蹴るので、女の選手の足を出来るだけ真似ることです。

よく足を廻して蹴り、多くの水をひつかけた時には、蹴り終つて、最後に兩足先が着くのが、おそくなります。即ち蹴り終りの足先は、最後迄ぐつと力を入れて、最初外側からけり初めたのが中頃から内側の方に向ひ、蹴り終りの位置に着けやうとしてゐるのですが、水がよくひつかかつて居る爲に力を入れてもなかなか着かない。之を力を入れて早く着く様とすればする程、水を強く後へ押しやることになります、相當に力を入れて強く蹴つてゐる人でもすぐ足先がついてしまふ人は、力を使った割合に足が利かないのでそれだけに樂にピツチを早くすることが出来るが、結局それは手の力を利用した無理な泳ぎで、泳ぎ終つた時に、手ばかりが疲れてゐて、餘りよいタイムは出ない。百米では無理をして何ともつて行けても、二百米では、到底續かない。

手は先づ出来るだけのばして、出来るだけ自分の體より前方の水をつかんで強く後にかく、然も其の

かく時に、自分の身體の位置を前方に進めると同時に、呼吸と次に行ふ足の蹴が一番都合の良い位置に保たねばならない。

手を出来るだけのぼして、前方の水をつかむと云つても、最初からのぼしつきりでは、體の位置を呼吸出来る所を持つて行くことが難しい、それで、充分體の位置を、保つことに注意しながら持つて行き、かき初める直前に、最前方にのぼすのが一番良い、其の時、手先は、幾分下に向け、少し離して置き、そのまま後方にかけてよいので、手先を着けて居ると、それから水を兩方におし分けて、後にかくことになるから損である、然し之はやつてみると非常に難しいことで、手を出来るだけ延ばし、又手先を少し離して直ぐに水をつかまうとすれば、手を餘り延ばさず、ひちで水をおさへ、樂に體を浮かして呼吸する位置に體を持つて行くのに較べると、體が浮かないで、只呼吸に苦しむ、之は手を出す時に、體を浮かすことに力を使つて、前方に進む速度を落すことをさけ、手によつて體を浮かすことをしないから、従つて此處に、足の力によつて、體を前方に進めながら浮かすと云ふことが大切になつてくる。それ故、足の力を強め充分手をのぼして、直ぐ水がかめる様にする爲には、現在よりも、もつと、足が強くなつて、體の位置を前に進めながら浮かす様にならねばならない。そして、それが出来る様になると、足の蹴り初めがもつと早く出来る様になる、足が早くなれば、自然に手も早く、かき初めることが出来る、之によつて、私は百米に於いても、割合に大きな泳ぎをして居ながら、ピッチを早くすることが出来るのだと思ふ。

かうなつて來ると、手から足、足から手に移る動作の連絡は、益々デリケートになつて來る。足から手に移る時は、足が蹴り終つた時、直ち兩足先がわかれた時に、ゆつくり泳ぐ時ならば、そのままにして置くと體がぐ一つと前に進むが、レースの時の泳ぎとしては、此の蹴り終つた時には、即ち、手はかき初める位置にあり、蹴り終りと、かき初めに少しの時間もあつてはならない。ピッチを早くする爲には、蹴り終らない前に手をかき初める人もあるが、結局それは、力を無駄にしてゐるので、手の力にまかせて泳げるかも知れないが、ピッチを早くする爲に、それだけ、手をかくのと、足を蹴るのを早くすればよいので、之によつて無駄なくピッチを早くすることが出来る。どの様な時でも、かき終りと、蹴り初めの間は早すぎてもいけない、時間を置いてもいけない。蹴り終りと、かき初めに於いても同様で、

特に蹴り終りから、かき初めに移る時が一番大切で、その間に全々暇がなく、終りと初めが同事に行はれるのが理想的ではないかと思ひます。

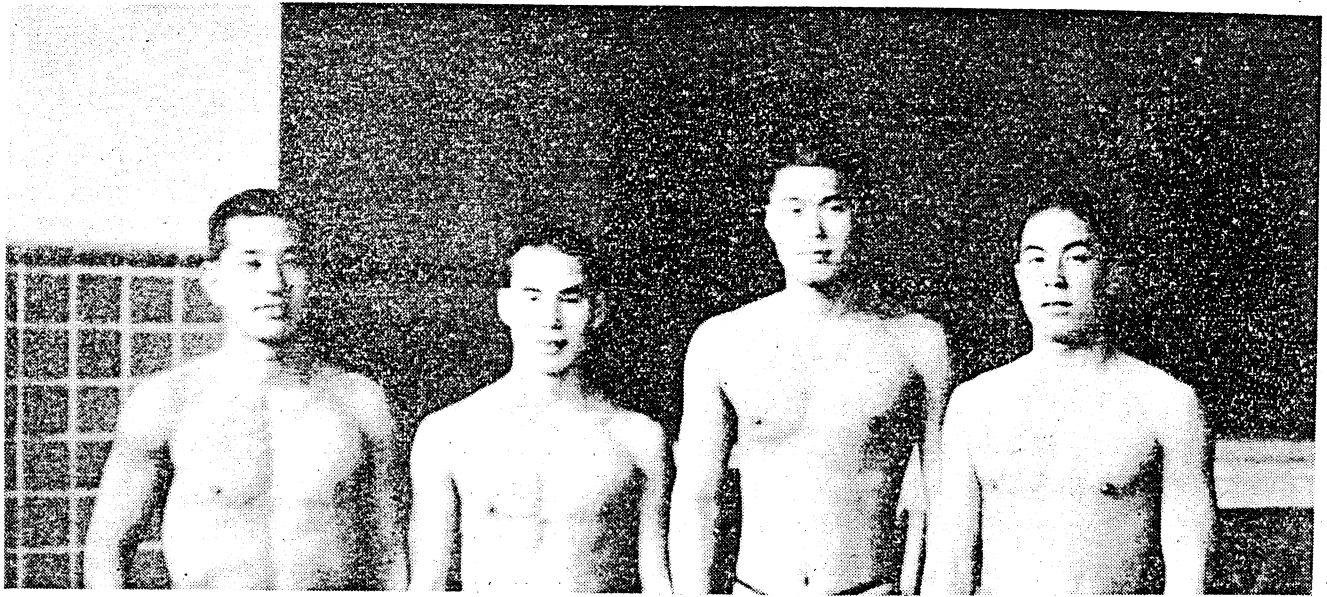
呼吸に付いては、手をのぼしてゐる時に、息をはきながら頭を上げ、上げたらずぐ吸ふ。四年前、鶴田さんに、色々と有益な話を聞いたのですが、其の時、水をのんだ場合には、大ていの方は、頭をぐつと持ち上げて、立ち止る様に止つてしまふ、然も之が大てい、ラストの競り合ひの時に多いので、水をのんだ爲に、敗けたと云ふことがよくあります。此の様な場合には、そのまま、苦しいのをこらえて、頭を下げてぐつと飲み込んでしまふと、立止らないで済みます。

呼吸の時の位置は、口はほとんど水面とすれすれです。よく隨分上の方に口をあげて呼吸をしてゐる人がありますが、口を上げるとそれだけ、前進に使つてゐる力を、口を上げる爲に使ふから、口は出来るだけ低くして、體の上下動を少なくすることです。

その他、私のスタートは特に上手によくもぐると云はれますが、之は、水中では呼吸しない爲、一々止らない。手をかく時でも、呼吸の時の様に胸の所に收めないで、じつと腰の所迄かくことが出来ます。現在大ていの一流選手は、これをやつて居ますが、中學選手、女流選手の方は、餘りやつてゐない様です。

最後にレースの時、タイムの落ちる人が多い。之は各人の精神力が、非常に影響しますが、私は、必ず練習の時よりも良いタイムが出ると云ふ自信を持つてレースにのぞむことが出来るのです。練習の時よりも、頑張つて泳ぐのですから良いタイムが出なければならぬ筈です。もう一つは、自分のペースを守つて泳ぐこと、然もそのペースによつて、自分の全精力を使ひ切ると云ふことが大切です。おそらく、普通の調子をレースに持つて行つて、良いタイムが出ない人は、自分のペースを誤り、力を早く使ひ盡すか、使ひきれないで終つた人で、レースに於いて、自分の力を完全に使ひ切ると云ふことが、レースの秘訣ではないでせうか、最後に、若い中學選手には、足に全力を注ぐこと、足の完成によつて基礎を作り、其の後で手を強くして、タイムの向上を計ることが一番大切です。

百米のレースの爲に、バタフライを用ひ、其の爲に、手ばかりに全力が行つて、足の力が弱くなり、二百米に於いて失敗する様なことがない様に希望します。バタフライをやるならばそれで二百米を泳ぎ切る位の手力のある人でなければ成功しないのではないかとも思ひます。



比島遠征選手を送る

日本水上競技聯盟

昭和十四年一月十四日からマニラで舉行される比島選手権大會に招聘された日本大學の葉室鐵夫主將以下、佐々木猛、谷口利弘、天野富勝四選手の壯途を盛にし猶其健闘を祝すべく十二月十日夜丸ノ内中央亭で壯行會が催された。此れに先立ち同日正午より帝大室内プールにて記録會を行ひ次の様なシーズン外としては注目すべき成績を収めた。

(水温 23 度)

100 米自由形	佐々木	58.6
400 米自由形	天野	5:16.8
200 米平泳	葉室	2:43.4
100 米背泳	谷口	1:10.4

天野の不調であつた原因は足に腫物が出來た爲であつた。

壯行會は出席者卅餘名に及び極めて盛會であつた。末弘會長先づ立ち、一行の壯途を祝し、氣候の全く異なる地方へ遠征する四君の健康への注意を喚起し、亦此様な機會を以て國際親善をも果されんことを希望された。ついで主將葉室君の答辭があり、ヘルシンキへの一段階として懸命の活躍を期し、日本

水上競技界に貢獻すべく抱負と自信を述べた。

四君は何れも現役の第一線に立つ選手であり、明後年のヘルシンキでは日章旗を狙ひ得る實力を十二分に持つた人達であり、従つて只に比島の選手権を獲得すると言ふことにのみ目的をおかず葉室主將の言の如く、ヘルシンキへの一段階として此の機會を利用し、國際舞臺には初めての他の三選手はその度胸と雰囲気をも十分経験されんことを切望して止まない次第である。

尙一行の旅程は次の通りである。

昭和 13 年 12 月 12 日 午正

横濱出帆 熱田丸

同 16 日 マニラ着

同 30 日 イロイロの競技會出場

昭和 14 年 1 月 14, 15 日

比島選手権大會出場

(於、マニラ)

同 17 日 マニラ發、加茂丸

同 26 日 神戸着

(寫真右より天野・佐々木・谷口・葉室の元氣な四君)

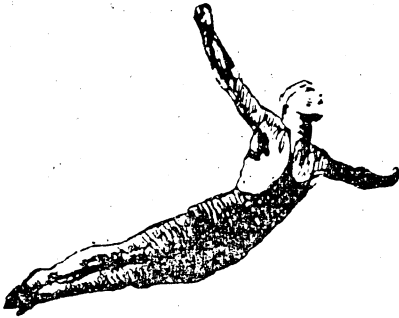
會談座込飛習練合同

樓本松谷比日於

夜二十日九月

出席者 (順序不同)

原 秀 夫	生 江 哲太郎	原 西 三
柴 田 隆 二	高 橋 庄之助	毛 利 元 英
小 柳 富 男	柴 原 恒 雄	大 澤 政 代
森 英 之	大 澤 禮 子	横 山 周 子
田 中 キ ヨ	北 田 舜 次	加 茂 正 美



原秀 此度の合宿は高橋さん、原西三さんのお二人の監督と或は男女兩方の選手方の色々の御努力に依りまして、非常に有意義な合宿練習だつたと云ふことを承つて私共喜んで居る次第であります。今夜は慰勞會を兼ねて皆さんとゆつくり話合ふために、一度食事でもしようと思ふ計畫だつたのです。皆さんは今の日本の飛込界の最高のレベルの人達であり、日本の飛込と云ふものを引張つて行かれる方々がこれだけ大勢お集まりになることはそんなに度々はないのではなからうかと思はれますし、折角さう云ふ皆さんが一堂に會して非常に効果のあつた合宿の後の話ですから何かこれからの若い人達の爲になる話が澤山出るのでないかと思はれますものですから一まあ一時間位の間、最初に大體合宿の話を一監督にして戴いてそれから兩方の選手の方々に、男の方の代表として小柳君、女の方では大澤政代さんに簡単な感想を仰言つて戴いて、後残つた時間を今度の合宿の主な目的である新らしい、五種目の練習法と言ひませうか、その要領と言ひませうか、そんなことに對して各人の御意見を聞してもらひいのであります。

原西 初から甚だ潜越でございますが一言喋らして戴きます。此度の合宿は選手の方々も殆んど缺席なく集つて下さいます、寒いのに拘はらず女子は朝 10 時から、男子は午後 1 時から毎日猛練習を續けたことは皆さんの熱心の賜物と厚く感謝致します。大體豫定の如く來年の新らしい種目に對して一般的にやつた積りであります。そして皆さんも出来るやうになつたと思ひます。特に今度私がやりたいと思つたことは、今迄どうも踏切と云ふものが等閑視されて居たのではないかと思ひ

まして、先づ踏切のことに就いて猛烈に皆さんと研究し合はふと思つたのであります。そこで女子の方は朝 10 時から殆んど 1 米ばかり約 1 時間位に亘つて練習しまして、大體 3 歩と 4 歩の間の時間と云ふものが、今迄はどうも短かつたやうに思つて居たのが、今度は悠々と取れるやうになつて、それから飛出して行ける、まあかう云ふことが實現されたと思ひます。

高橋 私が今度の練習で一番感じましたことは、斯様なオリンピック候補合同練習に於きまして基本的練習と云ふものを監督選手非常に苦心致し練習しましたが、それが非常に面白く、且つ効果もあつたと云ふことは環境もあつたでせうが、大變のんびりと和氣霽々とやれました。それはどこから來たかと申しますと結局飛込が発達すると同時に選手諸君の研究心と云ふものが非常に目立つて來た、その研究心があつて結局あゝ云ふ風に楽しく全部の練習を終つたのだらうと思ひます。原西君が言はれたやうに、例へば一寸踏切が後に掛つたと言はれればその次にはちやんと直す、又 3 歩目が低くすぎると言はれれば考へてすぐ直す、かう云ふやうに飛込が発達すると同時に研究心が盛になつて選手自身監督に余り云れずにも自分から飛ぶと云ふやうになつたからあゝ云ふ風に和氣霽々とした練習が出来たのだと思ひます。これが今度の合宿で一番効果があつたと感じて居ります。御挨拶としてその位であります。

原秀 小柳君どうです。

小柳 今度の練習を始める時に練習法を平常と少し變へて主に踏切のことをやらうと言はれましたが私も前から踏切はとても大切だと云ふことを考へて居ましたのでこれには大賛成でした。合同練習

には各校から各校それぞれ異つた感じのある飛込と云ふものが一つに集つて、皆と研究し合つてやつたと云ふことに今度の合同練習の意義が非常にあつたと思ひます。選手も亦試合と云ふことなどに拘泥はらずにすんだ爲に踏切のみを考へて充分に練習出来たと非常に喜んで居ります。その踏切のことに就いて申しますと今迄は3歩から4歩は余り高さばかり取らうと心掛けて居たのぢやないかと思ひます。矢張高さも必要ですけれどもそれに相當の幅と云ふものを加へなければ助走の意味がないと思ひます。その4歩目が落ちてくるとき足先を伸して板を抑へ、又足先で蹴つて板を離れる。それには矢張り3歩から4歩のきれいな體の動きを必要とすると思ひます。さう云ふことを原さんが非常に力を入れて見て呉れました、選手もそのことばかり一生懸命になつてやりまして合同練習の終り頃になつた時には毛利さん、柴原さんなど随分助走の感じが變つて、飛込も今迄より輕くなつた様な氣がしました。

原秀 大澤さん—

大澤 女子の方は午前と午後に練習しまして、最初はそれが負擔になつて來るのぢやないかと思つて大變心配して居りましたが、兎に角時間の規律を厳しくやること、電車にも絶対に乗り遅れない様にと、東伏見に毎朝通ひまして練習しました。踏切の方は今小柳さんの考へて居らつしやいました様に私共も第一歩の踏出から輕く、最後に持つて來てストンと落す、さう云ふ遣り方を成可く早く呑込むやうにと練習致しました。又原さんの提議で竹竿を前に張りまして、足先を伸しながらそれを飛越へる、さう云ふ方法も大變有効でした。私共女子の踏切の遣方を、夏の試合頃から見ますと餘程變つて來ただらうと思ひます。それから私共の方は合宿の方までもとても氣分が皆合つて嘩喧するのではなく、兎に角この一週間が楽しくつて楽しくつて仕方なしに終つたやうな案配で、まだもの足りないやうな氣が致しました。又練習時も丁度いゝ疲れさ加減でしたので、もう練習はいやだなアなどゝ言つて諦きるやうなことは一寸もありませんでした。そして新種目なども前に考へて居たよりも非常に樂に、簡単に手を着けられるやうになりましたし樂な氣分で新種目に向はれたと云ふことが最大の進歩だつたと思ひます。踏切は4人が4人共違ふ悪い癖を持つて居たのですが、例へば横山さんの一步の氣張る所が樂になられたやうですし、禮子の2歩から3歩目の膝の曲るのも

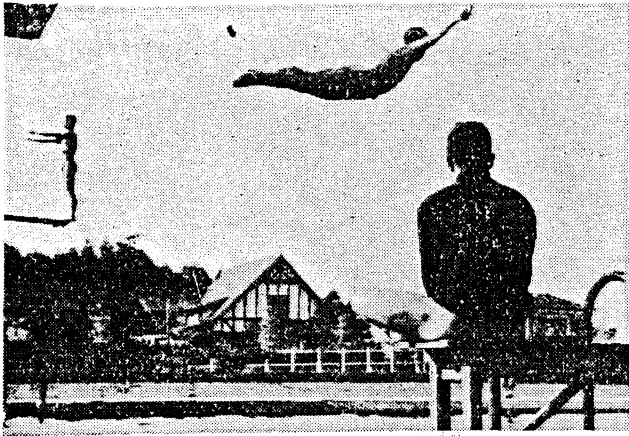
大體矯正されましたし、私の腰を落して最後に踏む所も5回に一度位はいゝものが出るやうになつたと思ひます。又田中さんも最後の踏切の所で力が這入り過ぎて腰が残り、前に行かないで止まつて了ふと云ふやうな行き方もすつとよくなりましたし、この最後の所の足の上げ方が柴原さん式に足だけで行くと云ふやうなものもなくなりました。大體踏切がかう云ふ風によくなつた爲に飛び出してから飛込が樂に、自由に誰もこなせるやうになつたのが今度の合同練習で一番の收穫だつたと思ひます。この點原さんのコーチを皆さんがよく頷いて練習もしたのでありますが、コーチに對して有難く思つて居ります。終り

原秀 柴田さん、カメラのフアイングの方から覗いた感じは如何でした？

柴田 この間行きましたね、さう云ふ練習方法とは知らなかつたのですが、眞横から見てお尻の出つ張る人とか、助走の悪い人を寫して呉れと言はれましたので、兎に角さう云ふ風に寫したのでありますが、今分りました。成る程今度は寫眞に依つても矯正出来る譯でありますね、初めて行つた時の感じですが、非常に今度の合同練習が旨く行つたと云ふのはかう云ふことが原因して居るのぢやないかと思ひますが、詰り全部の試合が終つた後なので、ひとつ根本的なものを直して見ようと云ふやうな氣持がみんなにあつて、そして又非常に新らしいものをやらうと云ふやうに皆の氣持が向つて居た所へ、酉さんも根本的なものを直さうと持つて行つたものがあつて、それがびつたり合つたと云ふことが非常に旨く行つたのぢやないかと思ふ感じを私は受けました。先づ新らしい種目に就いては入門が出来たわけでありませぬけれどもこれから、どう云ふ飛込を作り上げて行くかと云ふことが相當難しい問題だと思ふのですがこれは皆が各々夢を描いたらどうかと思ふのであります。例へばあれはどう云ふのがいゝと思ふとかこれはかう云ふのが一番いゝだらうとか云ふ具合にね、そしてそれを皆で話合つて行つて、一番いゝのを決めて行くと云ふ風にしたらどうだらう

原秀 さうすると今度の新らしい種目の練習法と言ひますか、勘所と云ふやうなものを、この合宿されて居なかつた他の選手で、さう云ふことが全然分らない方が随分居ると思ひますが、さう云ふ方の爲にも、今度練習された皆さんがこの新らしい規定飛は斯様な所を注意したらよからうとか、斯様に飛んだらいいとか、さう云ふ御意見が澤山あ

らうと思ひますが、どうぞそれをどんどん述べて載きたいのです。柴原さん、どうでも、前途中宙返り1回に就いて？



柴原 僕は暫く練習を休んで居つたのではつきりしたことは分りませんが、高橋さんとも色々意見の交換をしたのですが、庄さんの意見では大體に於いてこの前途中宙返り1回はタツクから一度暇にして伸した方が安全だと言ふやうに伺つたのですが、僕自身はこの前のロスアンゼルスオリンピックの寫眞でシマイカの途中宙返りを見て居りますので、一度バイクにしてそれから伸すと云ふと腰の曲つた線が見えるので、自分としてはどつちがいゝか皆さんと研究して見なければ分らないことだと思ひます——がそれからこの飛出してから手を前に持つて來ると横にやるのとありますが、どちらにやつてもオーバーするとか云ふことにはさう大した影響はないと思ひます。結局手を前にやるのがいゝか、スワローのやうに横に開いてフライングした方がいゝか、それを一つ皆さんに今晚御伺ひしようと思つて居た所なんです。

小柳 僕は手を上に上げたらいゝのぢやないかと思ひますが。

柴田 その理由は？

小柳 理由は別にないけれども全體の感じですね、廻轉する時に手を横に開いて居ると横から持つて來るわけです、上だと方向の線に沿つてずつと持つて來られるから、そこにいゝ所が出るのぢやないかと思ふんですが。

原秀 どうです、女の人の方の御意見は？ 大澤さんの妹さん。

大澤(禮) 私には全然分りませんワ。

原秀 あれは横山さんが旨いのぢやないかな。

大澤(政) 私などがやるのも矢張手を上にあげてフライングする方がかゝりに樂なんです。

原秀 さうすると一番どう云ふ點を注意することになるのですか？

高橋 手を上に舉げた方がいゝと思ひますね——今の練習はまだ充分にしてないからたうと思ひけれど——フライングの時に一本線になるから、私は前に出して置いてフライングした方がいゝのぢやないかと思ひます。手を横に開いて前1回宙返り伸形式のフライングをすると何か見て居て、手が横から出た時に感じが合はないのぢやないかしら、前に伸してやつた方がぐんと迫力のある飛込になるのぢやないかと思ふのであります。

原秀 大體この前のベルリンのものから想像するとアメリカの選手などは距離を出すのぢやないかな一般にドイツとか、日本の選手は余り距離を取らないで高さを増すと云ふ感じだつたし、アメリカの選手は低く飛んで行かうと云ふ感じだつたが。

柴原 前に距離を出した方が飛び易くなるからぢやないですかね。

原秀 すると前に出ると云ふことが或程度飛びよくなる原因だとすると、それに就いて踏切を前にかけると云ふ方法は絶対必要ないわけですか？

柴原 それは助走のスピードだと思ふのですが、3歩目から4歩目への移りのスピードだと思ひますが。

原西 私は今度の合同練習で前途中宙返り1回で皆さんの通幣は板に合つて居ないのぢやないかと思ふ板に合はずに上半身を先に出して了ふので、その爲に後から足が上つて來て、腰が曲つて上ると云ふことはこれに重大な原因があるのぢやないか、詰り飛込が大體に於いてうそぢやないかと思ふのだ、もつと板そのものに體が委されて、足の下からぐうつと上つて來たら肩なり、或は胸の邊りが樂に行つて、足が引つかけて文句ないと思ふね。

原秀 さうすると踏切に力を使い過ぎるわけですね、力を使い過ぎるので早くなるのぢやありませんか。

原西 いや、それは踏切に無理があるからだらう。その悪い點は毛利君などにもあるのぢやないですか。

原秀 さう云ふことは前途中1回宙返りに限らず他の飛込に就いても言へるのぢやないかと思ふが踏切の場合に自分の力を必要以上に使ふので板よりも前に體が出て了ふと云ふことが大きな原因ぢやないでせうか。もつと板に體を委せて、バウンドを利用して飛び出せば遅くなると云ふか、板に合

ふと云ふかその所がもつと自然になるんぢやないかと思ひますが。

高橋 結局その最後の落ち方に無理があると自然板が弾ねて呉れると云ふことが少くなるのだらうと思ひます。今度の種目と云ふものは去年の規定飛をよく飛んで居なかつたと云ふ人がそこに損して居るのぢやないかと思ひますが、殊にバツクのハーフなどにはさう云ふ所が見出されますね。

原秀 初めてこの途中宙返り1回をやらうと云ふ人があつたらその豫備運動として、それに移る前に1米か何かでやつたらいいと云ふやうなことは何かありませんか。

原酉 先づ1米のフライングの練習だな。

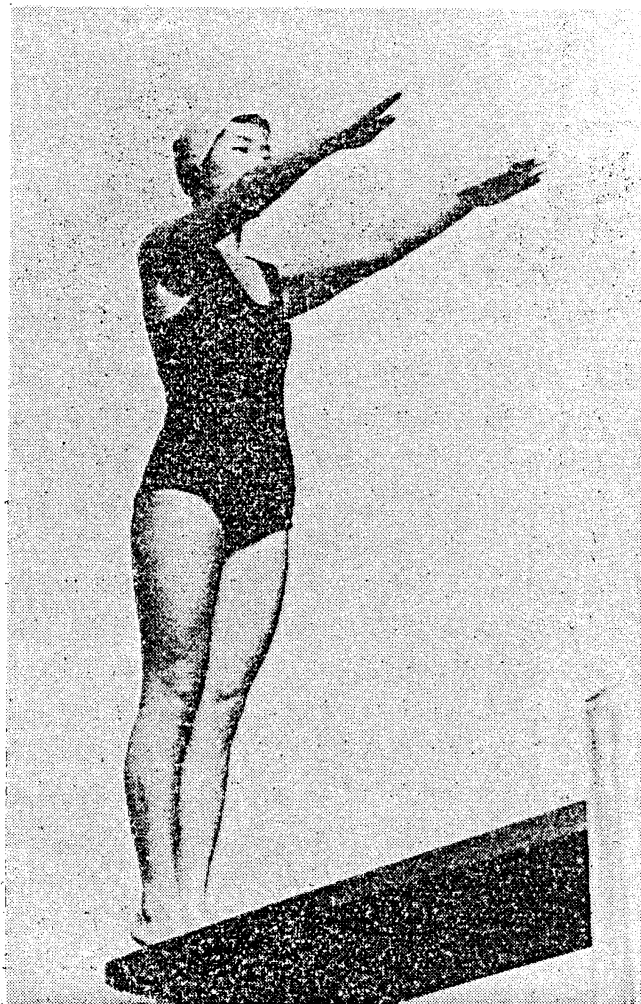
小柳 僕は1回宙返りだから、1回宙返りの感じを覚える事が必要ぢやないかと思ふのですが、1米で1回宙返りをうんとやれば前途宙返りの練習になるんだらうと思ひます。

原酉 フライングの1回の宙返りで抱へられぬ人が相当あるのだ、だから1米で抱へ形の宙返り1回をやつたら抱えると云うその感じが出来て来るのぢやないかと思ふ。禮子さんのなど抱は畳の上に坐ると云ふやうな感じがするのですが、あゝ云ふ感じで抱えると、3米から坐つて落ちると云ふ感じですが、結局それは抱へると云ふ氣持が足りないのぢやないかと思ふ。小柳君の云ふやうに抱へ型の宙返りをうんとやつたら或は途中宙返りでもさう云ふ感じが出るのだらうと思ひますが、北田選手なんかも抱へることが出来ずに、途中で膝とふくら脛はきどしうの後がくつ着いて了つて居ると云ふやうなのは抱へる感じが無いのだね、大部分の人が抱へが大きいのは皆抱へ方の觀念が足りないのだと思ふのです。

原秀 そんなことでそれは終つて、次は後宙り1回ですが、これは皆さんが考へられて居るやうに、結局廻轉そのものに就いて餘り疑問がないのでその廻りを如何にして止めて確實に真直まっすぐに水に這入ることにキーポイントがあるのぢやないかと思ひますが、伸切型を止めずに廻りを確實に止める方法ですね、それにはどんな風にやつたらいいでせうか。

原酉 それは踏切る時にスナツプを極力使つてやる。今迄やつて居るのを見ると只廻轉をやることは出来るが、結局廻りがすぎたり、足りなかつたりするのです。それは踏切の最後に飛び出す時に大抵氣が抜けて、ふらツと飛んで了ふのです。そこをもう一遍板の足應こたへがある迄、詰り最後の五

分間ですね、その氣持を出して、前半を早く廻してやる。さうするとその踏んだ餘韻と云ふか、さう云ふもので後は廻つて来ると私はかう云ふ風に思ふのですが、生江君、君は前に規定飛でどうやられたのですか。



生江 僕らのやつた時は今迄全然やつたことがない人が1回宙返りをやらうとする心構へが一番大きなもの、廻轉ならば廻轉の一番高い時に大きく廻る感じを持つてやつて居たのですが、初めはおけらをやつたり、落ちて了ふことが多かつたのですが、落ちて来ても踏切を幾分トープして早く廻すと云う事をやることは僕には非常に悪い結果を持つやうに思はれます。大體後宙返りは非常に大きなサークルで宙返りを廻ると云ふ風にいつでも心懸けて居たのでありますが、今度私が見た場合に就いて言ひますと、毛利君の後宙返り1回半などは非常に大きな廻轉をすることを心懸けたらもつともつと上に行くと思ひますけれど、今の話では廻轉をとめてすぽんとやると云ふことを言つてないのでありますが――

原秀 大澤さんの妹さんが旨いのぢやありませんか

大澤(禮子) 男の方達のを見て居ると廻り終つてから水を見て居るから廻り過ぎたり、オーバーするのぢやありませんか、私達がやる時はバツクをやる位の氣持で出て、水を見ないで胸で引上げる、この後の引上げが皆さんの足りないのぢやないかと思ふのですが。

生江 でだしをバツクで出ると云ふのは大賛成ですね。

大澤(禮) それは最後迄のどを伸してやつて板を見ると云ふやうな風にやるのです。

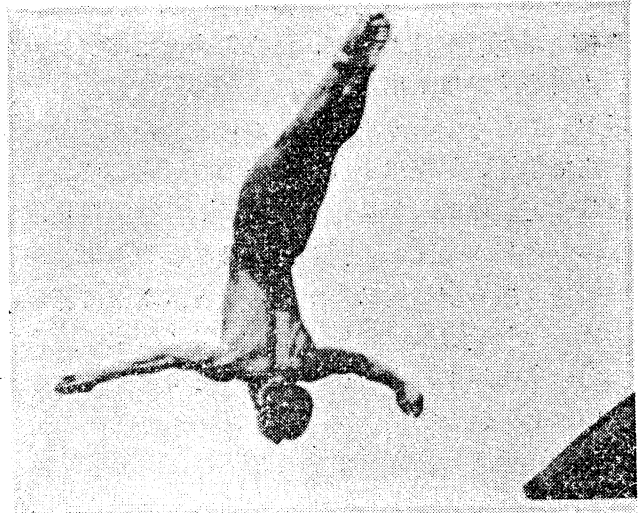
小柳 今男の連中が水を見ると云ふのは足りない時はかう云ふ風にやらうと思つて見るのだし、オーバーの時はそれを止めるために水を見て居るのだと思ひます。

原酉 その足りない時と云ふのはスナツプが利いて居ないのだ、それからオーバーの時と云ふのは廻轉ばかり付けて高さが取れて居ないせいぢやないかと思ひますね。

原秀 私は後1回宙返りに就いて、兎に角やる度に足りなかつたり、オーバーがあつたりするだらうと思ひますが、杉本さんの論旨ぢやありませんが伸ひ方になつて居る姿勢で、それでオーバーをしたり、足りなかつたりするのを繰返して居る中に眞直ぐに這入つて行くと云ふ練習をすべきで、途中で頭を下げたり、腕を廻したりすると厳格な意味で伸型の範圍から少し外れて居はしないかと思ふのです。今酉さんが言はれたやうに、結局踏切に起因するので、どう云ふ風に踏切つた時が眞直ぐに這入るのかと云ふことを強調して、それから後の出てからの對策はずつと進歩してから後で考へるべきで、それを皆無理に考へずに數多く飛んで、眞直ぐに水に這入るやうな踏切を得度した方がいゝと思ふのですが——それに就いて私の目に残つて居るのはアメリカの選手がやつて居た手を兩横に開いて力をぬくと云ふ方法で、その伸型を壊はさないで力をコントロールする方法ですが、非常に良いやり方ぢやないかと思ひますが——それから慶應の若い選手の連中がやつて居ましたが、何の宙返りでも踏切が早いので普通にやると廻り過ぎて了ふのを、確實に水に入る逆に廻りをセーブして眞直ぐに這入ると云ふ遣方をして居られる方があると思ふのでありますが、それは損なので、折角早く廻れるのだつたら、早く廻つて、踏切で宙返りの力をセーブされるやうなことをしない方がいゝのぢやないかと思ひますが。

原酉 その點は踏切をセーブして眞直ぐ水に入れう

とする精神はいけませんけれどね、踏切は思ひ切つてやつて、そして後宙返りなら90度の所まで思ひ切つて廻轉させて、そこまでの廻轉の要領を覺へたあとは自然にやると云ふ氣分を得度した方が美しいのぢやないかと思ふ。かう云ふ點があつて初めて美しいのぢやないかな。



原秀 それではそんな所ですか、他にありませんか
柴田 さうするとそれはさつき禮ちやんの言つたの

と一寸變つて來ますね、禮ちやんは終ひまで廻すと云ふので——

生江 いや、廻轉のことを言つて居るのぢやないよ

柴田 あゝさうかさうか。

高橋 酉さんの言つたやうに餘韻でやると云ふことは、アメリカの選手のやつて居るやうに手を兩横に高く上げてすつとやると云ふのも失張さう云ふ所にあるんぢやないか、結局オーバーして居るのを手を上げて止める、そして手を下ろすと同時にすうつと軽く入れると云ふのもさう云ふ餘韻を見せる爲にやつて居るので、酉さんの言つたやうに90度なら90度に出て、それからその廻すと云ふ感じを抜いて、抑へ、軽く水の中に這入つて行くと云ふのと同じであつて奇麗だと思ふのですが。

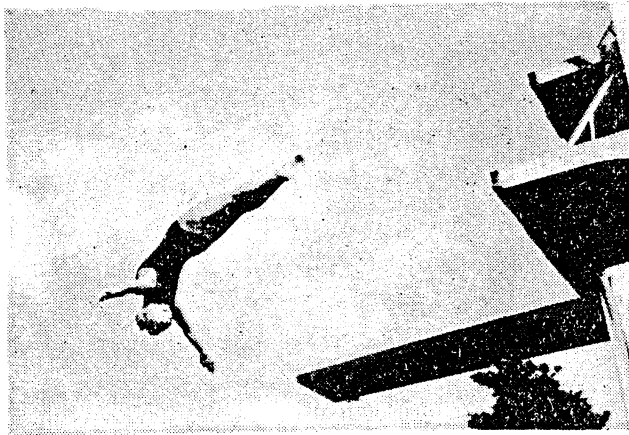
原秀 私が考へて居るのは、私共が飛んで居た時も後1回宙返りが規定にあつて、私が酉さんと競争してもいつでも私の方が負けるのですが、水に眞直ぐに這入ると云ふことなら私の方が可なり眞直ぐに這入つて居たと思ふのですが、それならばどこが悪かつたかと考へますと、元來私が初めに覺へたのが陸上であつた爲に、これは眞直に來ないと危ないから廻つて來る途中で先に目で見當を付けて置いてやる、それでさう云ふ風になつたと思ひますが、酉さんの方は初から、頭から廻してやる方法であとを餘韻で廻して居る、さう云ふ風に

してやるので、さう云う點に私が負ける原因があるんじゃないかと思ひますが、結局私等の考ではこれからの日本の方々やるのには私踏んで来たやうな道を行つたのではどうしても他の者に勝てないと思ひます。せいぜいいゝのが出ても8點と云ふ點か最高で、又實際さう云ふ遣方では美しくないらしいから己むを得んと思ふが。

高橋 毛利君が言ふんだ、いくら奇麗にバツクを飛んでも7點以上出ないつて。

毛利 さうぢやありません、あれはあなたが言つたんですよ、7點以上は出ないつて云ふのは。

高橋 どこに缺陷があつたかと云ふと結局踏切にあつたと思ふのだ、毛利君の踏切は手先を中心として手を振らずに肩に力が這入ると云ふ處に有るのだ。そして飛出す前見當をつけて居て水に這入るから7點以上は出ないと云ふことになるのぢやないかと思ひますが。



原秀 それでは次に移ります。蝦形のイザンダーこれはどうです。

生江 大澤政代さんが中々旨いですよ、選擇でして居たから。

高橋 新しい人にやらせるにはどう云ふ風にしたらいゝか、どうやれば一番早く出来るかね。

原秀 これは1米で棒飛をよくやりますね、あれをそのまま首を引かないで、足の先と目の方向とを一致させて出て、そこに足を止めて置いて、そのまま後ろに引張つて行けばいゝのぢやないかと思ふのですが、最も悪いのは體を板の方にそつくり返へして置いてそして足を持つて来るものだから時にはひつくり返るし、高さがなかつた場合は重心がお尻の方に來て體が落ちる、かう云ふ風になるのぢやないかと思ひますが。

原秀 私などは本にある繪を見て、かう云ふ風にやつたらいいんじゃないかと思つてやつたのでした。

生江 旨かつたね。

原秀 結局あれをやつて見て感じたのは、ごく自然にやることで、何か伸しとか色々なことを考へないで、唯踏切を合理的に踏むと云ふだけで、曲げも伸しも非常に自然にやるのが失敗も少ないし、且つそれが一等奇麗なのぢやないかと云ふ感じを持つて居ります、人に依つては或は伸型で持つて行つて、途中でパイクして、急激に伸すと云ふやうな方法をやられる方も出て來るのぢやないかと思ひますが、要するに板を踏んで自然に行つて自然に來ないでバツと伸して了ふ、途中パイクと云ふやうになつて、それから落ちて來ると云ふさう云ふ遣り方の人も出て來るのぢやないかと思ひますが。

原秀 私今秀さんが最後に云つた様なシステムを私がさう云ふのを今度見た所では大抵淺いですね、それに高さが無いのぢやないかと思ひます。

高橋 秀さんの今言つたのをやつて居るのが久保です、足りても、足りなくても、ぐうつと引張り込んで了ひますが、あれがあとの伸しがあつたらさう云ふ風になつて來るのぢやないかな。

原秀 踏切は兎に角眞直ぐに踏むと云ふことが勿論前提となるけれども、パイクものゝ廻轉としては自分の前に蝦型になると云ふやうな觀念ですうつとやられたらいゝのぢやないかと思ふが。

原秀 それで失敗する原因は大抵踏切と同時に足を上げて來る爲ですね、それを時間を置いて、先づ踏切つてその次に上げて、それから腰から下の線を蝦形に折つてやれば、肘から手^{ひじ}を振り切つて引つ張り込むと云ふ、かう云ふ過程を取ればいゝがさもないと一遍に體が落ちて來るのぢやないかと思ふ。

原秀 皆さんの中にはバツと伸す方がいゝと云ふ感じを持つて居られる方はありませんか。

高橋 今の所はバツと伸す所か、そこまで持つて來ると云ふやうな餘裕がないんじゃないかと思ひませんか。

原秀 勿論今の所はさうですが、將來の考へです、アメリカの人なんかはどつちかと云へばさう云ふ伸しをする人が随分出て來るのぢやないでせうか。

原秀 後飛の蝦型の逆がいゝのぢやないかと思ふが

原秀 デゲナーの後飛と云ふやうな伸し方でせう。それはやる人もあるかも知れませんが、伸しからの後の線を奇麗にする爲に——でも結局は自然に行つた方がいゝのぢやありませんか。

大澤(政) パイクザンダーも腕を軽く使つてから開

けるやうになると奇麗になるでせうね。

原秀 非常に人為的になつた時は足の下の線が水平になるのぢやないか、自然的な場合には足の線が非常に立つて来るのぢやありませんか、吾々の言つて居るのはその中間の所が最もいいと云ふのですが。

高橋 それに伸しをうんと研究せぬといけないと思ふね、バイクイザンダーはね。

原秀 それから次の後踏切前飛伸型これは女の人にはないから主として男の方達と云ふことになりませんが、何か御意見は？ あれは踏切が非常に難しいのぢやないでせうか。

原西 踏切は難しいけれど簡単だらうと思ひますが例へば練習を始める時板をむきになつて踏みますね、その時の氣持で飛び上つて後ろに足をぽんと上げればちゃんと完全に板の上に廻つて来ると思ひますが、皆怖さが先に立つて腰を引いてやるんだかそこを征服すれば文句がないと思ひますが。

原秀 踏切る前に體の緊張が緩んだら駄目ぢやありませんか。

原西 さうですね、緊張したまゝ軽くぽんと足を上げればいいのぢやありませんか、そして飛出して行くのは足の先からですね、足の先を後ろに向つて90度に上げることですね。

原秀 さう、90度上がる迄に弧を描くわけですね。

原西 自分の速度を意識して軌跡を描けばいいわけだ。

原秀 出る前に體の緊張が緩むと云ふことが問題ですね。

原西 たゞ真直ぐに踏切つて90度に足の先で弧を描く、それだけと思ひますが。

生江 それでは板の柔かいのと堅いのは非常に違つて来るのぢやありませんか。

原秀 それは違つて來ますね、だから初歩の人に對してはどつちがいいだらう？

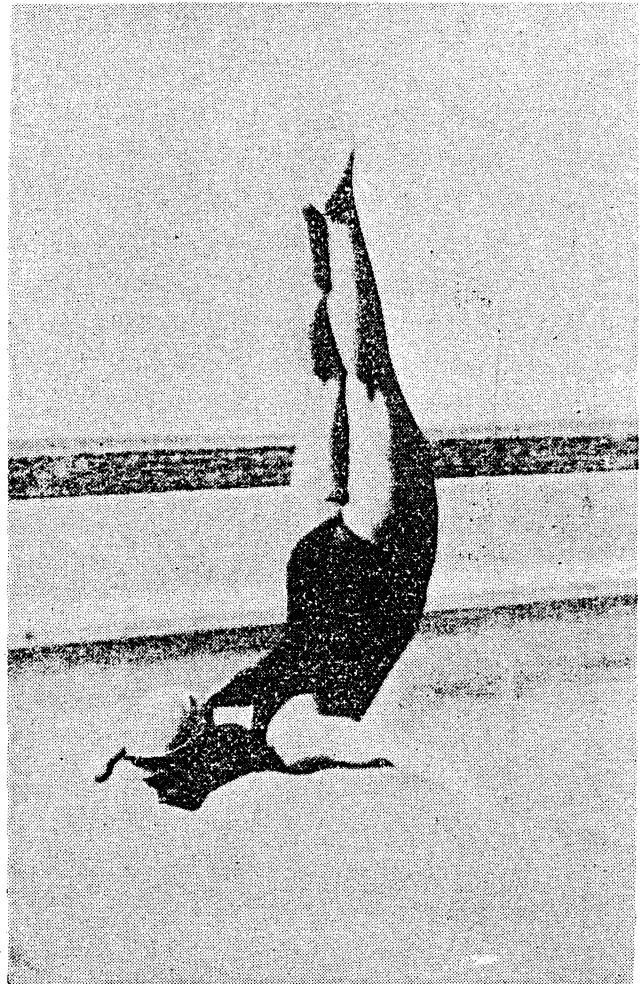
高橋 堅い方がいいと思ふが——柔かい板は緊張が早く消えますからね。

小柳 待ち切れないで身體を後に倒すからどうしても、腰が出てしまふんです。

原秀 それでは最後の後飛半回捻りですが、これは皆さんの人の中にも逆飛の半回捻りのと同じやうに、完全な後飛になつて頭が下つてから捻ると云ふことをやらないから捻り足りなく落ちたり捻り過ぎて落ちたりするのでせう。

原西 今やつて居る人を見たと早いんですね、上りながら捻ると云ふのが多いやうですね、矢張り完

全にバツクで落ちる姿勢になつた時に捻ると云ふのがいいのぢやないかと思ひますがね、上半身を捻る時に足などが緩んで居て、バイクの浅い形になりますね、それを防ぐ爲に腰から下で1回捻り乍ら前宙返り1回半(氣狂ひ飛)の最後の捻りのやうな具合になつてやつたら、落ちる所がいいのぢやないかと思ひますが。



原秀 私は頭の位置が下に下らない中に捻りにかゝると云ふことは、初めから半捻りをやろうと思つてやるので捻り方が急激になる、急激になるから頭の位置が下に下らない中にやつてしまふその様なのはだめだと思ふ。初めの中は捻りが4分の1でも捻れればいい、段々にそれが半分になつて来るやうに少しづつでも捻ると云ふやうな氣持でやつたらいいのぢやありませんか。後飛の一番自然に捻れると云う事は頭がまだ上にある間は捻りにかゝれないのぢやないかと思ひますが、逆飛半回捻りでも初めから半回完全に捻つて了ふ氣持でなくて、初めインダーで飛んで行つて少しづつでも捻ると云ふ風に、頭が下に來ない中は捻りにかゝれないのぢやないかと思ふ。それをイザンダーと

捻りを別個に考へて、バツを人爲的に自分で捻る爲にあゝ云ふ弊害が出て来るのぢやないかと思ひますが、矢張り黙つて居ればそのまま水に這入つて来る、それと段々に少しづゝ廻して来る、そしてそれが半分に捻れるやうになつて這入ると云ふ風にやればその弊害が少くなるのぢやないかと思ひますがさう云ふことはありませんか。

高橋 皆、選手の連中は水を見て了ふと捻る感覚が無くなると云ふのだね。

原秀 水を見て了ふからと云ふけれど上の方で見て居る場合と人爲的に見て居るのと違ふのだ。野田(前茨木中學)さんが昔やられた時に非常に旨かつたのですが、野田さんのイザンダーは頭を使つて水を見ないのです。——例へばバツクダイヴでも上に飛出して體の位置が廻つて來ない中にやつたら駄目だと思ひますが。もつと最初に飛出した時のやうな形のまゝでバツクダイヴが自然にかう云ふ形(手を軽く横に開き胸でそり首を自然にして型を示す)になるまで待つて居て、それから自然に這入ると思ふのですが、それをバツクダイヴにならない中に自分で水を見て了つて捻るものだから出來ないと思ふのです。

柴田 二つの行き方があるのぢやないかな、體を捻つてぐらつとやるのと、體をぐるつとロールさせるやうな形があるのぢやないか。

原酉 捻る爲にはバツクで足が上つて來て、かう云ふ姿勢になつて落ちて來ますね、その時は首を使はずにさう云ふ姿勢になる。これをやる爲には眞直ぐに上つて、その空になつた時にやると云ふのが一番いゝのぢやありませんか。

原秀 先づバツクをやつて若し水に這入る前に餘裕が出來たら、捻つて見るのがいゝのぢやありませんか、最初からバツクが廻つても廻らなくてもやつて了ふからいけないのぢやないか、バツクダイヴをやつて少しづゝでも捻る餘裕が出來たら徐々にやつて行くと云ふ方がいゝと思ひますが。

原酉 その餘裕が出來ると云ふ位置は胸に全然力が這入つてなくて腰から下の部分がぴんと初めて行はれるのぢやないか、だからその氣持を掴んでやればオーケーだと思ふのですが。

高橋 これからは矢つ張り去年の規定飛を理想的にやつて居らなかつた人はいけないのぢやないか、この種目だけは去年の規定飛をやつた價值があつたよ。

小柳 アメリカ邊りぢや相等早く捻つて來るのぢやないかと思ひますがね。

高橋 アメリカなどのはくるつと早く捻るだらうね
原秀 アメリカ人がばつとするのをやる人も居けれど、又その半面に違ふのをやる人が出て來たら矢つ張り勝つてのぢやないか。

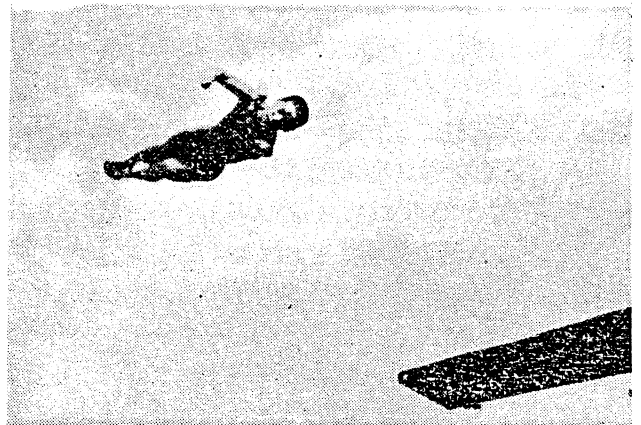
森 して見ると捻りが早くても間違ひぢやないわけですね。

原秀 僕の考へでは早くかゝると云ふのは結局バツクダイヴがまだ決つてない、バツクダイヴか完全でない中に捻りにかゝるかゝれるので、本當の後飛び半回捻りにはならぬと思ふのですが、だから實際に後飛び半回捻りの競技になつたとして見るならば先づ捻りにかゝつて落ちるよりも先づバツクダイヴを入れようとして、バツクから4分の1位にでもなつて這入つて行く方が將來性があるのぢやありませんか。

柴田 以前に妙なハーフがありましたね、體が奴風のやうに廻つてね、あれに近い奴をバツクハーフでもやつて了ふのぢやありませんか。

原酉 だから指導する人は首を使はずに廻轉が出来るやうにして、飛上つて空になつた時に廻轉することを強調したらいいのぢやないか。

原秀 日本の方は皆どこか神経の鋭い所を持つて居るのですが、初めからそれを濫用し過ぎるやうに思ひますが、もう少し我慢して、にぶい所をやつて、後でその特長を活してやつたら外國の上に行けるのぢやないかと思ひますが——



原秀 色々皆さんの御意見から想像して見ますと、今度の合宿と云ふものは今迄になかつた、非常に有意義なものであつて、斯様な言葉を使つていゝか悪いか知りませんが、所謂大人の合宿だつたやうな氣が致します。これは私共もさうでありましたが、この前のベルリンのオリンピックに行く前を考へますと、柴原さんにしても小柳さんにしても、又女の選手の方で大澤さんの姉妹にしてもさうであります、飛込の技術にしても、又選

手としても、例へば競泳の方の清川さんのやうな非常に長い履歴を持つた人に比較してどうも子供であつたと思ひます。ベルリンに行つた時でも如何にも子供の選手に子供の監督が附いて行つたと云ふ感じがして居りましたが、皆さんの御協力を得て今度の合宿と云ふものは完全に大人に成りきつたとは言ひませんが、少く共そこに進歩した“大人になりつゝある”と云ふ感じがして私としてもこんな嬉しかつたことはないであります。島崎さんもいつもさう云ふことを言はれて居ましたが、役員をして居るものが幾らやきもき言つても選手の連中が役員の言ふ通りになつて、右に行けと言つたら右、左にと言つたら左に動いて居る間は駄目だ、選手が役員と同等の意見、乃至はそれ以上のものを持つて、寧ろ議論を闘はして行くやうにならなければ、日本の飛込も結局世界の一流にはなり切れないと云ふことを私に言はれたことがありました。私も早くさう云ふやうな時代にならないものかと常に考へて居たのでありますが、正にさう云ふ時期に今なりつゝあるのであ

りまして、今度の合同練習が今迄になかつたやうな非常に有意義な會合だつたと確信して居ります。いつかの東京オリンピック競技會の打合の時にもお話がありましたし、皆さんもさう云ふやうな御意見だと思ひますが、今後共に戦争が續いて居りますし、役員の方にも召集され、或は仕事の爲に忙しくなる方もありませうから今の選手諸君が自分自身で日本の飛込を率いて行くのだと云ふ氣持を持つて、名實共にリーダーとして進んで行かれるやうに切望します。或は學業の關係、年齢の關係で、結婚される方も職業にお付きになる方もお居りでせう、現役を退かれる方もおありでせうが、必らずしも皆があそこに出てジャツジにならなければならない必要はないのでありますから各人がこれまで折角ご研究になつたものを全然捨て、飛込界から消へて了はれると云ふことが吾々としては、否日本の飛込界の損失なのでありますから、環境が變られたら、變られたなりに又御協力下さることを御願ひ致します。色々ありがとうございました。

日本選手權水球大會の成績に就いて

日本水上競技聯盟

笹島彦次郎

最近になつて全日本選手權大會の記事をとの御依頼があつたのだが、何分日柄が經つて居るし、二番煎じの出がらしではと思つたが、未だに印象に残つて居る點を糺ぎ合せて、責を果す心算である。

水球界の主要競技會として一役をなす春秋、インターカレッジの競技會その他に關しては、座談會の形式で検討が済んだのである故今年の總決算の形として書いて見たいと思ふ。

試合當時に受けた感銘と云ふか興奮と云ふものはその場で直に文字にしておかぬと例へば松澤氏の如くすぐに消えてしまつて後になつて、顧みて書いたものは似ても似つかぬものとなつてしまう恐れがあるが、然し後者は比較的穩當な、眞に近い批評となるのではないかとも思はれる。

今各出場チームについて見るに、申込み八チーム中三つの中等學校チームを見た事は水球界のため、大に喜ばしい現象であると思ふ。常に吾々の口にする如く、水球は到底短日月では大成するものではな

い。子供の時から球に親しみ球をマスターせねば眞の試合は不可能なのである。此の點よりして大に歓迎すべきことである。とは云へ此の好ましい傾向は全日本選手權大會が今年大阪に於て行はれたが爲に見られたもので、例年通り東京であつたなら見られなかつたと思はれるのである。中等學校に於ける水球は關西の方が一步リードして居るものと思はれる關東側の各中等學校の奮起を望むものである。中等學校選手中未だに記憶に残るものは茨木中學の古參選手數名であるとは云へ、決して悲觀すべき材料とはならない。何れ上級校に於て今迄に培はれた技倆を伸ばすであらうから。

次に目につく事は、二つの混成チームである。即ち全國帝大戰では互に鏘を削つたであらう東京京都兩帝大の混成軍と、早稻田大學現役及びその先輩より成る稻泳會チームである。帝大クラブチームはその結成の苦肉の策も好感を持ち得るものである。

純學校チームとしての關西學院大學チームは春季

關西インターカレッジの覇者であり、慶應も亦關東の優勝者であり、それが組の第二軍と共に出場したのであつた。

次に各試合に就いて観るに、前に述べた通り、記憶も相當に淡い故特に強く残つた印象丈に止めて置く。尙詳細な競技記録は他にゆする。

關學一帝大クラブ 堤をフロートとしハーフに川田を置いた帝大クラブは島田、庄田のバツクを有する關學に對し堂々の戦をなしたが前半の負擔重く後半のリードも空しかつた。

慶應B—今宮中學、慶應は矢張り第二軍らしく策戦なり、試合の運行なりは曲りなりにも知つては居り乍ら、如何んせん技、力共に之に伴はず何となく頼りない試合をして元氣一杯の今宮中學に手を焼いて居た。

稻泳會—茨木中學、早大現役越川、豊島に準現役古莊、先輩上野、藤田、竹林、大先輩木村の諸豪を加へた稻泳會は流石に、技に、動きに、見るべきものが多かつたが、相手の茨木中學もさるもの見事なコンビネーションを見せて對戦した特にバツクマンのコンビネーションは賞すべきであつた。

準決勝 關西學院—慶應B組、泳ぎに、技に勝つた關西學院の得點數の比較的少なかつた理由は、折角得點機會に迄持つて行き乍ら得點の極め手所謂ゴールゲッターに缺けて居たがためであつた。徒にドリブルで抜いて出る丈であつた慶應組は精神的に若く凡戦に敗れた形である。も少し固くならず伸びりと戦つたなら面白かつたであらう。勿論慶應ゴールキーパー小川の技も買はるべきではあるが、

慶應A組—稻泳會 油の乗り切つた若手の慶應A組に對して、稻泳會は餘りに差がありすぎた、唯往年の勇士の時々示す技の中にその盛時の技の片鱗が窺はれた次第である。目に残る點は稻泳會大先輩木

村君の老猾な動きであつた。泳力、體力その他餘りにも懸け離れて居た。

三位決定戦 稻泳會—慶應B組、慶應B組は前述の如く、非力で體力なく、ゲームセンスはあるが力はそれを消化し得ず加ふるに、パス悪く(之も非力の現れではあるが)精神的若さは此の場合は顔振れに呑まれた形で現はれて居た。勝てる試合を失つて了つたものである。それにしても、古莊名ゴールキーパーも再三度膽を抜かれて居た様であつた。

決勝戦 慶應A組—關西學院大學、この顔合せは約一月前東京に於て一度行はれて居り、その各メンバーも殆どさしたる變更を見て居らぬ故非合戦か返り討ちかの共に負けられぬ戦であつた。關西學院は田崎、島田、庄田の精鋭をバツクに有し、慶應は本年春以來常に成功して居る和田のフローティングホワードシステムを持つて來、それに兩ウキング松本名取に突込みの動きを加味して對戦した。如何に華々しい決勝戦に相應しい大快戦が見られるかと期待したのに、徒に興奮して殺氣立ち競技者の頭の上でボールがキリキリ舞をする様なユーモアもゲームの氣分を柔げぬ程に緊張して居た。唯の一泥試合と化して了つた事は返へす返へすも残念な事である泥試合となることは防げば防げることではあるが、何れから仕掛けるでもなく、段々に深みに陥るのがその特徴であるよろしく早く止むべきであらう。此の意味に於て水球委員會の審判委員會に大なる期待を掛けるものである。

それにしても何氣ない觀衆の一人の次の一言は何とも云へぬ力強さを感じた次第である。即ち(水球選手は體が肥つて大きいな)の一言である。實に意味深長な頼もしい言葉であつた。

此れは水球の進むべき一方向を指し示して居るのではなからうか。

本聯盟役員出征者通信(其二)

こちら案外に暖か、1ヶ月振りて島崎君のゐる師團司令部を訪れ、ついつい話は東京のことになり、いささか望郷的になつたと云ふ次第、不相變元氣、御安心下さい。

長 倉

惡友あり遠方より來ると云ふわけで二人で二晩飲み且つ語りました。今は某地警備、大砲の音も聞え

ず、極めて稀にどこかに空襲があるか、警報がある位です。二人とも同じ師團、長倉が歩兵隊附で苦勞して居ます。皆様によろしく。

N. S. R. Nanking Shanghai Railway とは發見。

上海派遣藤田部隊本部付

島 崎 保 正

冠省暑中御見舞申上げます。御多忙の事で御座る

ませう。扱て舊明大の岩切盛行歩兵少尉は小生と同じ中隊の少隊長として同時出征残念乍ら八月八日午後四時名譽の戦死を致しました。残念でなりません。きつと仇は討ちます。最後は實に天晴れなもので御座りました。右御知らせ致します。草々

中支派遣松浦部隊、市川部隊、戸崎隊
歩兵少尉 中 島 利 世

拜啓 陳者小生今般應召に際しては過分の御高配を忝うし且御多忙中に拘らず盛大に御見送被下御芳志の程誠に感激に不堪有難く御禮申上候

本日無事入營仕候間何卒御放念賜度今後は一身を國家に捧げ至誠奉公以て尊臺の御高配に對へ奉る可存念に候

尙應召中萬事宜しく御援助願上度右不取敢御禮を兼ね入營御報告旁々御願ひ申上候 敬具

甲府市歩兵第四十九聯隊
遠 藤 信 男

途中落伍もせず無事廣東附近に到着しました。やせもせず肥りもせず元気で居ります。

行軍の途中〇川城で同封の新聞を發見水泳の記事が載つて居ましたので御送り致します。僕が泳いでも入賞する様なタイムですが御笑ひ草までに

今日午前中宿營地の傍の池で泳いで見ました水温は十九度から二十度位、こゝらに日本の河童連中を連れて来て練習したら一年中泳げるんだから強くなるでしょう。

内地の新聞を暫く見ないので皆さんの活躍振りがわかりません。御暇の折にでも御便り下さい。

南支派遣久納部隊氣付南里部隊
安 永 弘

皆さん御元氣か、俺も至極元氣だ、今〇〇に警備についてゐる。もう十一月も中ばだと云ふのに裸になつてクリークの魚を捕る程、こちらは暑い、罐詰でないパインアップル、バナナ、パイヤ等南國特有の果物も戦闘中に嫌と云ふ程喰つた。こちらに来る前に、こちらは有名な蛇の産地といふ話を聞いてゐたが蛇は餘り見當らない様です。

丁度一年前の十月廿二日の皆さんと御別れした記念日の今年の十月廿二日は戦闘の最中で、俺は痛い足を引きずり引きずり涙を心の中で流して銃を杖に歩いてゐた。でも戦闘中の苦しさも今になつて思へば夢の様で何だか楽しい様な恐しい様な思ひ出の一駒になつて仕舞つた。

蒋介石も、もう、そろそろ「参入つた」を言つてもいゝ頃だと思ふが、そうなると皆さんと又無事で會

へる日も遠くない氣がする、新聞も二月見ないし内地よりの便りも二月來ない。

支那米を喰つて支那人の夜具に寝ころび、今では身も心も支那臭くなつて、これで支那語だけは口からベラベラ出ないのがむしろ不思議な位です。

上陸以來今迄勇ましい、恐ろしい、石川五右衛門以上の色々の經驗をつんで話の種も相當に出來た、東京で若し又會へたらこれを百倍位にして面白くおかしく話して聞かせやうと思つてゐる。

便箋も封筒もないから手製で送る。

南支派遣久納部隊、馬淵部隊、新庄隊
藤 原 豊

謹啓秋冷之候、尊家益々御隆盛の段奉大賀候陳者小生一月應召以來皆々様には格別の御指導御援助を賜はり候も内地勤務にして何等御意に添ふ活躍出來申さず甚だ残念に思ひ居候處、漸く小生にも武運到來本日出征の途につくことゝ相成申候、出征後は微力乍ら全心身を聖戰の目的に傾注し皆様の御期待に添ふべく覺悟致し居候、留守宅は今後いよいよ皆様の御厄介に相成る事と存じ候へ共何卒宜しく御願申上候尙出征後は私信を嚴禁され當分御無沙汰に相成る事と存じ候へ共何卒悪しからず御容赦の程を

時節柄御自愛の程願上候 草々

藤岡部隊、陸軍歩兵少尉
中 田 周 三

北原の秋、噂にきいた程のものでもない。本夏の全日本に於ける收穫など新聞の上でおそまき乍らみた丈け。オリムピックに備へることも大事だし來夏の日米戰に對することは極めて緊要だ。インターミドルに於ける活躍が素晴らしいことは嬉しい。冬の合宿を東大で行ふなら是非参加したいと思ふがどうなるかしら、松澤、田畑氏によろしく

於北原 中 川 生

御無沙汰しました。

突然表記の部隊に來て居ります。

氣候も東京より暖い位、泳げないのと生水が呑めないのが味噌です。

インターカレッジも間近で御多忙の事と思ひますメンバー交換に出られないのが残念です。

先は御通知まで

中支派遣久納部隊氣付、南里部隊
安 永 弘

謹啓 益々御清榮之段奉慶賀候

陳者今般小官應召に際しては御多忙中にも不拘態々御見送を辱ふし且又御鄭重なる御餞別を賜り難有厚く御禮申上候御蔭を以て無事左記へ入隊仕り候間

乍他事御休心被成下度候此の上は一意専心軍務に精勵致す可く就ては倍舊の御指導と御鞭撻とを賜り度く奉懇願候

先は右御禮旁々御挨拶申述度如斯御座候 敬具
歩兵第三十三聯隊第八中隊、歩兵少尉
市橋滿之介

聯 盟 日 誌

10月1日	日獨伊三首都代表最終記録會 帝大プール	3日	體育行進	日比谷公園集合
4日	國民皆泳ラヂオ全國學童大會批判會 中央亭	6日	體育大會閉會式	明治神宮競技場
5日	日獨伊三首都記録交換競技會 帝大プール	10日	理事會提案事項打合會	事務所
7日	水球競技委員會	12日	理事會	中央亭
8日	學聯實行委員會		水球讀本千部納本完了	
10日	記録委員會兼編輯委員會 小學校十傑作成會	14日	編輯委員會	事務所
11日	遠泳批判會 天野選手世界記録公認通知狀國際 水聯ヨリ來ル		日本新記録及本年度十傑發表ス	
22日	松澤、野田、清水氏等日米對抗競技 = 付キ要談	15日	水球競技委員會	事務所
18日	學聯實行委員會	16日	飛込競技委員會	事務所
20日	小學校十傑表作成會	18日	競泳池公認委員會	事務所
21日	小學校委員會	20日	學聯主催慰安陸上運動會	豐島園大トラツク
25日	小學校委員會	24日	常務理事會	事務所
28日	競泳池公認委員會	25日	編輯委員會	事務所
11月1日	學聯體育行進打合會	28日	指導普及委員會(小委員會)	事務所
			十三年度クラス表中等學校十傑發表	
		12月1日	學聯實行委員會	事務所
		3日	水球座談會	事務所
		7日	指導普及委員會	事務所
		10日	理事會	中央亭

編 輯 後 記

支那事變以來二度目の春だ感概そゞる深いものがある、事變によつて仆た護國の英靈には衷心より感謝を捧げ亦今も尙戰塵に塗れて國の爲戰つて居る我等が勇士の上に心からなる武運長久の祈願を送る。

× × ×

新しいプールには新しい水が必要な言葉の様に新しい年には新しい流れがなければならない、そして此新しい流れが總てに、より以上の進歩となつて表はれねばならぬ新しい若き世代を背負ふ者達に。

今年も本記録倍大號と六十二號を以て一段階を告げたが不慣れと時間的に餘裕が無い爲に非常に不調に纏り終へた。然し誰れもが持つ様に新しい年に向つて雑誌水泳も亦新しく廣範圍の將來を活躍しやう

× × ×

記録號としての本誌、順序不動なるまゝに各地大會及豫選會等の成績を纏めて見た、六十二號には亦水聯の笹島、原秀、學聯の葉室諸兄を初め其他飛込關係者諸君の投稿を當編輯部より厚く御禮申上ます。

日本水上競技
聯盟機關雜誌

水 泳

第 6 2 號

昭和十三年十二月二十三日納本
昭和十三年十二月二十五日發行

(日本水上競技聯盟代表)

編輯兼發行人 共 道 洋 一

印刷人 米 田 眞 二

印刷所 改 洋 社
東京市豐島區巢鴨1丁目3番地

定價30錢 年8回發行豫定・8回分 2.40

豫約申込者に限り頒布す(1年前金豫約
は送料不要)

廣告料 10圓乃至35圓 御申込次第詳細回答

發行並 東京市麴町區丸ビル581
申込所 日本水上競技聯盟編輯事務所
振替口座東京三九九一九番